



吳省之入  
孫會洞  
自七  
八





黒谷上人繪詞第七目錄

三卷十

山門南都訴詔事

上人門弟連暑起請文事

月輪殿座主僧正被進御消息事

付座主被進起請文事

其後興福寺訴詔事

上人登山狀事

鹿谷別時念佛事

配所事 官人小松谷御房向事

三卷十

三月十六日花洛出給事

攝津國經嶋著給事



三卷  
五

幡磨國高砂津著給事

同國室泊著給事

三月廿六日讚州下着事

同國生福寺住寺事

同國御住時月輪殿御往生事

直聖房熊野山夢想事

黒谷上人傳繪詞第三十一卷

第一段

上人ノ勸化一朝ニミチ。四海ニヲヨフ。シカルニ門弟ノナカ  
ニ。專修ニ名ヲカリ。本願ニ事ヲヨセテ。放逸ノヲサラスモノ。  
オホカリケリ。コレニヨリテ南都北嶺ノ衆徒念佛ノ興行ヲ  
トカヌ。上人ノ化道多障身セントス。土御門院ノ御宇。門  
徒ノアヤマリヲ。師範ニオホセテ。蜂起スルヨシキコエシカトモ。  
ナニトナク。ヤミニシホトニ。元久元年ノ冬ノ比。中門太講堂  
ノ庭ニ。三塔會合シテ。專修念佛ヲ。停止スヘキヨシ。座主  
太僧正。真性ニ訴申ケリ

第二段

上人コノ事ヲ聞給テス、ミテハ衆徒ノ鬱陶ヲヤスメ、シリ  
ソキテハ弟子ノ僻見ヲイ、レメシタメニ。上人ノ門徒ヲアツ  
メテ。七箇條ノ事ヲシルレテ。起請ヲナシ。宿老タルトモカラ  
ハ十餘人ヲエラヒテ。連暑セシメ。ナカク後證ニソナヘスナハ  
千座主僧正ニ。進セラル。件起請文云

アマ子ク予カ門人念佛ノ上人等ニツク

一 イタ一ノ句ノ文義ヲウカ、ハスレテ。真言止觀ヲ破レ。餘

ノ佛菩薩ヲ謗スルコトヲ。停止スヘキ事

一無智ノ身ヲモテ。有智ノ人ニ對シ。別解別行ノ輩ニ

アヒテ。コノミテ諍論ヲイタス事ヲ。停止スヘキ事

一 別解別行ノ人ニ對シテ。愚癡偏執ノ心ヲモテ。本業ヲ

弃置セヨト稱レテアナカチ。コレヲキラヒ。ワラフ事ヲ。停止  
スヘキ事

一 念弗門ニラキテハ。戒行ナレト号レテ。モハラ娼酒食肉

ヲス、メ。タマタマ律儀ヲモルヲハ。雜行人トナツケテ。彌

陀ノ本願ヲ擧モノハ。造惡ヲオソル、コトナカレトイフ事

ヲ。停止スヘキ事

一 イマタ是非ヲクキマヘサル癡人聖教ヲハナシ。師説ヲソム

キテ。ホレキマ、ニ。私ノ義ヲノヘ。ミタリニ諍論ヲクハタテ。智

者ニララハシ。愚人ヲ迷亂スルコトヲ。停止スヘキ事

一 愚鈍ノ身ヲモテ。コトニ唱道ヲコノミ。正法ヲヒラス。種

種ノ邪法ヲトキテ。無智ノ道俗ヲ教化スル事ヲ。停止

スヘキ事

一ミツカラ佛教ニアラサル。邪法ヲトキテイツハリテ。師範ノ  
説ト号スルコトヲ。停止スヘキ事

元久元年<sup>甲子</sup>十一月七日沙門源空<sup>キモシ</sup>在判

道空	昌西	道也	蓮西
欣西	生阿	安照	如進
西意	佛心	源蓮	源雲
西縁	親蓮	幸西	住蓮
道亘	導西	寂西	宗慶
源智	行西	聖蓮	見佛
信空	感聖	尊西	證空

鏡西	仙空	惟西	好西
条西	仰善	忍西	住阿
示蓮	念生	尊蓮	尊忍
詣西	祥圓	弁西	空仁
蓮通	源海	安西	教芳
西入	圓智	導衆	尊佛
大阿	西住	實光	覺妙
禪忍	學西	玄耀	隨西
行空	道感	西觀	尊成
念西	行了	尊淨	歸西
義蓮	安蓮	導源	證阿

連暑ノ交名カクノコトシ。執筆右大弁行隆ノ息法蓮房信然也。	來願	蓮生	西尊	祥寂
	覺信	阿日	良信	戒心
	自阿	静西	綽空	顯願
	願西	度阿	善蓮	佛真

又座主ニ進セラル、起請文云。近白ノ風聞ニイハク。源空偏ニ念佛ノ教ヲス、メテ。餘ノ教法ヲソレル。諸宗コレニヨリテ。凌夷シ。諸行コレニヨリテ。滅亡スト云。コノ旨ヲ傳聞ニ。心神驚怖ス。ツ井ニ綺山門ニキコエ。議衆徒ニ及テ。炳

誠ヲ加ヘキヨシ。貫首ヘ申送ラレ畢。此條一ニハ衆勤ヲ十ノシ。一ニハ衆恩ヲヨロコフ。オソル、トコロハ。貧道ノ身ヲモテ。忽ニ山ノ洛ノイキトホリニシヨフ。喜トコロハ。謗法ノ名ヲケシテ。カク花夷ノ謗ヲト、メシ。モシ衆徒ノ糾断ニアラスハ。爭奪道ノ愁歎ヲヤスメシヤ。九彌陀ノ本願云。唯除五逆。誹謗正法ト。念佛ヲス、メシ輩。ムシロ正法ヲソレランヤ。僻説ヲモテ弘通シ。虚誕ヲモキテ。披露セハ。尤糾断アルヘシ。尤炳識アルヘシ。ソノムトコロナリ。子カフトコロナリ。此等ノ子細先年沙汰ノ時。起請ヲ進畢。其後イマタ變セス。カサ子テ陳スルニアタハストイヘトモ。嚴識ステニ。重疊ノアヒタ。誓狀又再ニニシヨフ。上件ノ子細。一事一言。虚言ヲモキテ。會

釋ヲミウケハ。毎日七萬遍ノ念佛ムナレク。其利ヲウシナヒ  
三途ニ墮在シテ。現當二世ノ依身ツ子ニ重苦ニ沉テナ  
カク楚毒ヲウケン。伏テ乞當寺ノ諸尊。滿山ノ護法。證明  
知見シタマヘ。源空敬白詮取

元久元年十一月七日源空

第三段

月輪殿ナキコノ事ヲ歎給テ。座主大僧正ニ進セラル。御消  
息ニテ。念佛弘通ノ間ノ事。源空上人ノ起請消息某  
山門ニ披露ノキ。動靜如何尤不審。如風聞者。餘行ヲ  
ムヘキヨシ。勸進ノ條不可然云。此条ニシキテハ。善道ノ  
意。此旨ヲノフルニ似タリ。然而旨趣甚深也。行者オモフ

ヘシ。抑諸宗成立ノ法ヲノヲノ自解ヲ專ニシテ。餘教ヲナ  
ハトモセス。弘行ノ常ノ習先德ノ故實也。異域ニトフラハハ  
月氏シニスナハキ。護法清弁空有ノ諍論震且ニハ又慈  
恩妙染權實ノ立破。是ヲ我國ニ尋シハ。弘仁ノ聖代ニ  
戒律大小ノアラソヒアリキ。天曆ノ御宇ニ。諸法淺深ノ談  
アリ。ハ宗キヒテ。定準トシ。三國傳テ軌範トス。シカレトモア  
ラカシメ。末世ノ邪亂ヲカハミテ。諸宗ノ對論ヲトメラレテ  
ヨリ。ゴノカタ。宗論ナカク。跡ヲケツリ。佛法コレカタメニ安全ナ  
リ。就中淨土ノ一宗ニシキテハ。古來ノ行者偏ニ無染無  
着ノ淨心ヲ凝シ。專修專念ノ一行ニ住ス。他宗ニ對テ執  
論ヲコノミス。餘教ニ比テ是非ヲ判セス。獨出離ヲ子カヒカ

ナラス。往生ヲトスル直道也。但弘教嘆法ノナラヒ。聊又其心ナキニアラサルカ。所謂源信僧都ノ往生要集ノ中ニ。三重ノ問答ヲイタシテ。十念ノ勝業ヲホム。念佛ノ至要ナル事コノ尺ニ結成セリ。禪林ノ永觀德慧心ニヲヨハストイヘトモ。行淨業ヲツナリ。撰トコロノ十因。其心一タ一ナリ。普賢觀音ノ悲願ヲカンカヘ。勝如教信カ先蹤ヲヒキテ。念佛ノ餘行ニスクレタルコトヲ證ス。彼ノ時諸宗ノ輩。慧學林ヲイシ。禪定水ヲタハフ。シカリトイヘトモ。慧心ヲモトカメス。求觀ヲモ罰セス。諸教モ滅スルコトナク。念佛モサマタケナカリキ。是則世スナホニ。人ナヲカリレユヘ也。シカルニ。今代流季ニヲヨヒ。時鬪諍ニ屬シテ。能破所破トモニ。偏執ヨリオ

コリ。正論非論ミナ。喧嘩ニヲヨフ。三毒ヲ千ニ催シ。四魔ホカニアラハル、ガイタストコロナリ。爰小僧幼年ノ昔ヨリ。暮ノ今ニイタルニテ。自行オロソカナリトイヘトモ。本願ヲタノミ。罪業ヲモレトイヘトモ。往生ヲ子カフ。ウズシコタラスシテ。四十餘迴ノ星霜ヲヲクリ。彌モトメ。イヨイヨス、ミテ。數百萬遍ノ佛号ヲトナフ。頃年ヨリコノカタ。病セリ。今アヤラシ。歸泉千カキニアリ。淨土ノ教迹此時ニアタリテ。滅亡シナントス。コレヲ見コレヲ聞テ。イカテカタヘイカテカレノハン。三尺ノ秋ノ霜肝ヲサス。一寸ノ赤焰△子ヲコガス。天ニアフキテ。嗚咽シ。地ヲタ、キテ愁悶ス。何况上人小僧ニヲキテ。出家ノ戒師タリ。念佛ノ先達タリ。罪ナクシテ。濫刑ヲ一子キ。謬十キ



テ。重科ニ魁セハ法ノタメ身命ヲ惜ヘカラス。小僧カハリテ。罪ヲウクヘシ。モテ師範ノトカラツクノハントオモフ。浄土ノ教ヲモラント思フ。クノミ。死罪々々敬白取詮

十一月十三日專修念佛沙門圓證

前太僧正御房

上人誓文ニヨヨヒ。禪閣會通ヲ。ウケタミヒケレハ。衆徒ノ訴言、マリニケリ

第四段

其後泉福寺ノ鬱陶猶ヤマス。同二年九月ニ蜂起ホツキシ。白疏ヲサ、ク。彼狀ノコトクハ。上人ナラビニ。弟子權大納言公繼卿ヲ。重科ニ魁セラルヘキヨシ。訴申。コレニツキテ。

同十一月廿九日。宣旨ヲ下サレテ云。項年源空上人。都鄙ニア子ク念佛ヲス、ム。道俗オホク教化ニオモムク。而今彼門弟ノ中ニ邪執ノ輩。名ヲ專修ニカルヲモキテ。各ヲ破戒ニカヘリミス。是偏門弟ノ淺智ヨリオコリテ。カヘリテ。源空カ本懐ニソムク。偏執ヲ禁遏ノ制ニ守トイヘトモ。刑罰ヲ誘諭ノ輩ニクハフルコト。ナカレト云取詮。君臣ノ歸依アサカラサリレカハタ、門徒ノ邪說ヲ制シテ。トカヲ上人ニ。カケラレサリケリ

第三十二卷

第一段

專修念佛ノ事。南都北嶺ノ鬱陶ニツキテ。上人ノへ申サ

ルハム子。ソノ理アル歟ノヨシ謳歌シ。衆徒ノイキトホリモ。次  
 第二ニユルクナリレカハ。上人惣シテハ。生死ヲイトヒ。佛道ニ入  
 ヘキイハレ。別シテハ。無智ノ道俗男女ノ念佛スルニヨリテ。  
 諸宗ノサマタケトナルヘカラサルム子。聖覺法印ニ筆ヲトラシ  
 メ。旨趣ヲノヘラレケル狀云ツレ流浪三界ノウチ。イツレノサ  
 カヒニ。オモムキテカ。釋尊ノ出世ニアハサリシ。輪廻四生ノア  
 ヒタニ。ソノ生ヲウケテカ。如來ノ說法ヲキカサリシ。華嚴  
 開講ノハシロニモミハラス。般若演說ノ座ニモツラナラス。  
 鷲峯說法ノニハニモノソマス。鶴林涅槃ノミキリニモイタラ  
 ス。ソレ舍衛ノ三億ノ家ニヤ。ヤトリケシ。ラス地獄ハ熱ノソ  
 コニヤ。スミケン。ハツヘレハツヘレ。カナシムヘレ。カナシムヘレ。サニ

イマ。多生曠劫ヲヘテモ。ムマレカタキ人衆ニムマレテ。無量劫  
 ヲオクリテモ。アヒカタク佛敎ニアヘリ。釋尊ノ在世ニアハサル  
 事ハ。カナシミナリトイヘトモ。教法流布ノ世ニアフ事ヲ得タ  
 ルハ。コレヨロコヒナリ。タトヘハ。目シ井タル。カメノ。ウキ木ノアナニ。  
 アヘルス。コトシ。ワカ朝ニ佛法ノ流布セシ事モ。欽明天皇  
 アメノレタラ。シロシメシテ。十二年三ツノエサルノトシ。冬十月  
 十三日。ハシメテ佛法ヲタリ給ヒシ。ソレヨリサキニハ。如來ノ  
 教法モ流布セサリレカハ。菩提ノ覺路イマタキカス。コノニラ  
 シライカナル。宿縁ニコタヘイカナル善業ニヨリテカ。佛法流  
 布ノ時ニ。ムマレテ。生死解脱ノミチヲ。キク事ヲエタル。シカルヲ。  
 イマアヒカタクシテ。アフ事ヲ得タリ。イタツラニ。アカレクラレテ。ヤ

ミナシコソ。カナシケシ。或ハ金谷ノ花ヲモテアソヒテ。遅々々々  
ル春ノ日ヲムナシクハラシ。或ハ南樓二月ヲアサケリテ。漫々  
タル秋ノ夜ヲイタツラニアカス。或ハ萬里ノナミニシカヒテ。夕  
ミノイロクツヲトリテ日ヲカサ子。或ハ嚴寒ニコホリヲシノギテ。  
世路ヲワタリ。或ハ炎天ニアセヲノコヒテ。利養ヲモトメ。或ハ  
妻子眷屬ニ纏ハレテ。恩愛ノキツナキリカタシ。或ハ執敵怨  
類ニアラテ。瞋恚ノホムラヤム事ナシ。愆テカクノコトクシテ。  
晝夜朝暮行住坐卧。時トシテヤム事ナシ。タハホレキマハニ  
アクマテ。二途ハ難ノ業ヲカサヌ。シカレハアル文ニハ。一人一  
日中。八億四千念々々。中所作。皆是三途業トイヘリ。  
カクノコトクシテ。作日モイタツラニクシヌ。今日モ又ムナシク

アケヌ。イマイクタヒカクラシ。イクタヒカ。アカサントスル。ソレアシ  
タニヒラクル榮花ハ。ユフベノ風ニナリヤスク。ユフヘニムスフ命  
露ハ。アレタノ日ニキエヤスレ。コレヲシラスシテ。サカエン事ヲオモ  
ヒ。コレヲサトラス。アラシ事ヲオモフ。シカルアヒタ。無常ノ風  
ヒトタヒフキテ。有爲ノツユナカクキエヌレハ。コレヲ曠野ニステ。  
コレヲトヲキ山ニラクル。カバ子ハツ井ニコケノシタニウツモレ。タマ  
レヒハ。ヒトリタヒノソラニマヨフ。妻子眷屬ハ。家ニアレトモカ  
ナハス。七劫萬寶ハ。クラニミテレトモ。益モナシ。タハ身ニシタカ  
ノモノハ。後悔ノ涙也。ツ井ニ閻魔ノ廳ニイタリヌレハ。ツミノ淺  
深ヲサヌ。業ノ輕重ヲカンカヘラル。法王罪人ニトヒテイハ  
ク。ナンチ佛法流布ノ世ニムシレテ。ナンソ修行セスシテ。イタツ

ラニ歸リキタルヤト。ソノ時ニハツレライカ。コタエントスル。スミヤ  
カニ。出要ヲモトメテ。ムナシク歸ル事ナカレ。ソモソモ一代諸  
教ノヲ千。顯宗密宗大乘小乘權教實教論家釋家部  
八宗ニリカレ。義萬差ニツラナリテ。或ハ萬法皆空ノ宗ヲト  
キ。或ハ諸法實相ノ心ヲアカレ。或ハ五性各別ノ義ヲタテ  
或ハ悉有佛性ノ理ヲ談シ。宗々ニ究竟至極ノ義ヲアラ  
ソヒ。各々ニ甚深正義ノ宗ヲ論ス。ミナ己經論ノ實語也。  
如來ノ金言也。或ハ機ヲトヘテ。コレヲトキ。或ハ時ヲカ、  
ミテ。コレヲラシヘ給ヘリ。イツレカアサク。イツレカフカキ。トモニ是  
非ヲワキヘカタシ。カレモ教コレモ教。タカヒニ偏執ヲイタク事  
ナカレ。説ノコトク。修行セハ。ミナコトコトク生死ヲ過度スヘ

レ。法ノコトク修行セハ。トモニオナシク。菩提ヲ證得スヘシ。修  
セシテ。イタツラニ是非ヲ論ス。タトヘハ目シ井タル人ノイロ  
ノ淺深ヲ論シ。ミシ井タル人ノコエノ好惡ヲイハンカコトシ。  
タヘスヘカシク。修行スヘシ。イツレモ生死解脱ノミニチナリシ  
カルニ。イマカレヲ學スル人ハ。コレヲソ子ミ。コレヲ誦スル人ハ。カ  
レヲソシル。愚鈍ノモノ。コレカタメニ。マトヒヤスク。淺才ノ身コ  
シカタメニ。ワキヘカタレ。タマタマ。一法ニオモムキテ。功ヲツマン  
トスレハ。スナハチ諸宗ノアラソヒ。タカヒニキタル。ヒロク諸教ニ  
ソタリテ。義ヲ談セントオモヘハ。一期ノイノチ。クレヤスシ。蓬萊  
方丈瀛州トイフナル。ニノ山ニヨソ。不死ノクスリハ。アリトキ。  
カレヲ服シテ。イノチヲノヘテ。漸々ニ習ハヤト思ヘトモ。タツ

又ヘキカクモ。オホエス。モロコシニ。秦皇漢武トキコエシ。御門コ  
レヲキ、テ。タツ子ニツカハシタリ。シカトモ童男、水女、子ノウチ  
ニシテ。年、月ヲヲクリキ。彭祖カ七百歳ノ法。ムカシカタリニテ。  
イ、ノ時ニツタヘカクシ。曇鸞法師ト申シ人コソ。佛法ノソコ  
ヲキワメタリシ。人ノイノチハ。アレタラ期シカクシトテ。佛法ヲナラ  
ハシカク又ニ。長生ノ仙ノ法ヲハツタヘ給ヒケレ。時ニ菩提流  
支ト申。三蔵ミシマシキ。曇鸞カノ三蔵ノ御マヘニ。ミタテ、  
申給ヤツ。佛法ノ中ニ長生不死ノ法。コノ土ノ仙經ニス  
キタルアリヤト。トヒ給ヒケレハ。三蔵地ニツバキハキテ。ノ給ハタ。  
コノ方ニハ。イツクノ趣ニカ。長生ノ法アラソ。タトヒ長年ヲ得  
テ。レハラクシナストモ。井ニニ有ニ輪廻ストノ給テ。スナハク觀

無量壽經ヲサツケテ。大仙ノ法也。コレニヨリテ。修行スレハ。  
サラニ生死ヲ解脫スヘシト。給キ。曇鸞コレヲツタヘテ。仙經  
ヲタチマチニ。火ニヤキテ。コレヲスツ。觀無量壽經ニヨリテ。淨  
土ノ行ジ。レルシ給キ。ソノ、チ。曇鸞道。緯善導懷感少康  
等ニイタルマデ。コノナカレラ。ツタヘ給ヘリ。ソノミチヲ。オモヒテ。  
イノチヲノヘテ。大仙ノ法ヲトラント。オモフニ。又。道。緯禪師ノ  
安樂集ニモ。聖道淨土ノ二門ヲ。タテ給フハ。コノ心ナリ。ソノ  
聖道門トイフハ。穢土ニシテ。煩惱ヲ断シテ。菩提ニイタル  
也。淨土門トイフハ。淨土ニムマレテ。カレコニシテ。煩惱ヲ断  
シテ。菩提ニイタル也。イマコノ淨土宗ニツイテ。コレヲイハ  
又觀經ニアカストコロノ。業。因一ニアラス。三福九品。十

定善ノノ行レナレナニラカレテソノ業ニチマチツラナレリ。マ  
 ツ定善十ニ観トイフハ。日想水想地想寶樹寶池寶  
 樓花座像想真身觀音勢至普觀雜觀コレ也。ツキニ觀  
 善九品トイフハ。一ニ六孝養父母。奉事師長。慈心不致。修  
 十善業。二ニ六受持三歸。具足衆戒。不犯威儀。三ニ六發  
 菩提心。深信因果。讀誦大乘。勸進行者也。九品ハカノ  
 三福ノ業ヲ開レソノ業因ニアツツフサニハ。觀經ニミエタリ。  
 惣ニテカレライヘハ定散ニ善ノ中ニモシタル往生ノ行ハ  
 アルヘカラスコレニヨリテ。或ハイツレニモアレタ。有縁ノ行ニ  
 オモムキテ。切ツカサ子テ。心ノヒカシ法ニヨリテ。行ヲハケマハミ  
 ナコトコトク。往生ヲトクヘレサラニラタカヒラナス事ナカレイ

散

マレハラテ。自法ニツキテコレライハ。マサニイマ定善ノ觀門ハ  
 カスカニツラナリテ。十ニニアリ。散善ノ業因ハ。チマチツラカレ  
 テ。九品アリ。ソノ定善ノ門ニイラントスレハ。スナハチ意馬ア  
 レテ。六塵ノ境ニハス。カノ散善ノ門ニソノメントスレハ。又心  
 猿アソンテ。十惡ノエタニウツル。カレラレツメントスレトモ得ス。  
 コレラトハメントスレトモアタハス。イマ下三品ノ業因ヲミレハ。  
 十惡五逆ノ衆生臨終ニ善知識ニアヒテ。一聲十聲阿  
 彌陀佛ノ各号ヲトナヘテ。往生スト。トカレタリ。コレナンソツ  
 レラカ分ニアラサランヤ。カノ釋ノ雄俊トイヒシ人ハ。七度還  
 俗ノ惡人ナリ。イノチヲハリテ。子。獄。率。闇。魔。ノ。應。庭。ニ。并。テ。  
 ユキテ。南。閻。浮。提。第一ノ惡人。七度還俗ノ雄俊。并テマイ

リテハンヘリト申ケレハ。雄俊申テイハク。ソレ在生ノ時。觀  
無量壽經ヲミシカハ。五逆ノ罪人。阿彌陀ホトケノ名號  
ヲトナヘテ。極樂ニ往生スト。マサシクトカシタリ。ソレ七度還  
俗ストイハトモ。イマタ五逆ヲハツクラス。善報スクナレトイヘ  
トモ。念佛十聲ニスキタリ。雄俊モシ。地獄ニオチハ。三世ノ諸  
佛妾語ノツミニオチ給ヘレト。高聲ニサケヒシカハ。法王ハ理  
ニオレテ。タマノカフリヲ。カタフケテ。コレヲカカミ。彌陀ハチカヒニ  
ヨリテ。金蓮ニノセテムカヘ給キ。イシヤ七度還俗ニラヨハサ  
ランヤ。イハンヤ一形念佛センヤ。男女貴賤。行住坐卧  
ラエラハス。時處諸緣ヲ論セス。コレヲ修スルニ。カタカラス。乃  
至臨終ニ。往生ヲ願求スルニ。ソノタヨリヲエタリト。楞嚴ノ

先德ノカキヲキ給ヘル。マコトナルカナヤ。又善導和尚コノ  
觀經ヲ釋シテ。給ハク。娑婆ノ化主。ソノ請ニヨルカユヘニ。  
ヒロク淨土ノ要門ヲヒラキ。安樂ノ能人別意ノ弘願ヲア  
ラハス。ソノ要門トイフハ。スナハチコノ觀經ノ定散二門コレ  
也。定ハスナハチオモヒヲヤメテ。モテ心ヲコラシ。散ハスナハチ惡  
ヲ廢シテ。善ヲ修ス。コノ二行ヲメクラシテ。往生ヲモトメ子カ  
フ也。弘願トイフハ。大經ニトクカコトシ。一切善惡ノ凡夫  
ノムル、コトヲウルモノ。ミナ阿彌陀佛ノ大願業力ニ乘  
シテ。増上緣トセストイフコトナレ。又ホトケノ密意弘深ニシ  
テ。教文サトリカタシ。三賢十聖モハカリテ。カハフ。トコロアラ  
ス。イハンヤソレ信外ノ輕毛也。サラニ首趣シランヤ。アツイ

テオモシミレハ釋迦ハコノ方ニシテ發遣シ彌陀ハカノクニヨ  
 リ來迎シ給フコヽニヤリカレコニヨハフアニサラサ九ヘケンヤト  
 イヘリレカレハ定善散善弘願ノ三門ヲタテ給ヘリソノ弘  
 願トイフハ大經ニ云設我得佛十方衆生至心信樂欲  
 生我國乃至十念若不生者不取正覺唯除五逆誹  
 謗正法トイヘリ善導釋シテノ給ハク若我成佛十方衆  
 生稱我名號下至十聲若不生者不取正覺彼佛今  
 現在世成佛當知本誓重願不虛衆生稱念必得往  
 生云觀經ノ定散兩門ヲトキヲハリテ佛告阿難汝好持  
 是語持是語者即是持無量壽佛名云コレスナハクカノ  
 弘願ノコヽロナリマタオナレキ經ノ真身觀ニハ彌陀身色

如金山相好光明照十方唯有念佛蒙光攝當知本  
 願寂爲強云又コレサキノ弘願ノユヘナリ阿彌陀經ニイ  
 ハク不可以少善根福德因緣得生彼國若善男子善  
 女人聞說阿彌陀佛執持名號若一日若二日乃至  
 七日一心不亂其人臨命終時心不顛倒即得往生  
云ツキノ文ニ六方ヲラノヲノ恒河沙ノ佛マシマシテ廣長  
ノ舌相ヲイタシテアミ子ヲ三千大千世界ニオホヒテ誠實  
ノ事也信セヨト證誠ニ給ヘリコレ又サキノ弘願ノユヘ也  
 又般舟三昧經ニイハク跋陀和菩薩阿彌陀二トヒテイ  
 ハクイカ九法ヲ行シテカカノクニムマルヘキト阿彌陀水ト  
 ケノ給ハクワカクニ來生セントオモハンモノハツ子ニ御名ヲ



念シテヤムコトナカレ。カクノコトクシテワカクニ、來生スルコトヲヲトノ給ヘリ。コレ又弘願ノム子ヲホトケ身ツカラノ給ヘリ。又五臺山ノ大聖竹林寺ノ記ニイハク。法照禪師清涼山ニホリテ。大聖竹林寺ニイタルコ、ニ一人ノ童子アリ。一人ヲハ善財トイヒ。一人ヲハ難陀トイフ。コノ二人ノ童子。法照禪師ヲミニチキテ。寺ノウチニイシテ。漸々ニ講堂ニイタリテミシハ。普賢菩薩無數ノ眷屬ニ圍繞セラシテ。坐シ給ヘリ。文殊師利ハ。一萬ノ菩薩ニ圍繞セラレテ坐シ給ヘリ。法照禮シテトヒタテマツリテ云。未法ノ凡夫ハイツレノ法ヲカ修スヘキ。文殊答テノ給ハク。ナンチステニ念佛セヨ。イマサシク是時也ト。法照又トヒテ申サクマサニイツレヲカ念

スヘキト。文殊又ノタハク。コノ世界ヲスキテ。西方ニ阿彌陀佛ニシマス。カノホトケマサニ願フカクマシマス。ナンチマサニ念スヘシト。大聖文殊。法照禪師ニマノアタリノ給ヒシ事也。スヘテヒロクコレヲイヘハ。諸教ニアマ子ク。修セシメタル法門也。ツフサニアクルニ。イトマアラス。シカルヲコノコロ。念佛ノヨニヒロマリタルニヨリテ。佛法ウセナントスト。諸宗ノ學者難破ヲイタスニヨリテ。人オホク。念佛ノ行ヲ廢ストキコユ。イマタ心エスハンヘリ。佛法ハコレ萬年也。タレナハントオモフトモ。佛法擁護ノ諸天善神マモリ給ユヘニ。人ノカラニテハカナフヘカラス。カノ守屋ノ大臣カ佛法ヲ破滅セントセシカトモ。法命イマタツキスシテ。イマニツタハルカトシ。イハンヤ無智ノ道俗在

家ノ男女ノカニテ念佛ヲ行スルニヨリテ法相三論ヲ隱  
没シ天台華嚴モ廢スル事ナシカハルヘキ念佛ヲ行セシ  
テ井タラハゴノトモカラハ一宗ヲモ興隆スヘキカハタ、イタツ  
ラニ念佛ノ業ヲ廢シタルハカリニテマタクソシ諸宗ノヲキロ  
ヲモサクルヘカラスシカレハコレオホキナル損ニアラスヤ諸宗ノ  
フカキナカレヲクム南都北京ノ學者兩部ノ大法ヲツタ  
ヘタル本寺本山ノ禪徒百千萬ノ念佛世ニヒロマリタリ  
トモ本宗ヲアラタムヘキニアラス又佛法ヲセナントストテ念  
佛ヲ廢セハ念佛ハコレ佛法ニアラスヲタトヘハ兎狼ノ害  
ヲニケテ師子ニムカヒテハシランカコトシ餘行ヲ謗シ念佛  
ヲ謗センオナシクコレ逆罪也トラオホカミニ害セラレン師子

ニ害セラレントモニカナラス死スヘシコレヲモ謗スヘカラスカ  
レヲモソ子ムヘカラストモニミナ佛法也タカヒニ偏執スルコ  
トナカレ像法決疑經ニハク三學ノ行人タカヒニ毀謗シテ  
地獄ニイルコトトキヤノコトシトイヘリ又本論ニハク自法  
ヲ愛染スルコトヘニ他人ノ法ヲ毀此スレハ持戒ノ行人ナ  
リトイヘトモ地獄ノ苦ヲマカレストイヘリ又善導和尚ノ  
ノ給ハク

世尊說法時將了  
五濁增時多疑謗  
見有修行起瞋毒  
如此生盲闡提輩

慳慳付屬彌陀名  
道俗相嫌不用聞  
方便破壞競生怨  
毀滅頓教永沈淪

超過<sup>テラ</sup>大地<sup>スモ</sup>微塵劫<sup>ヲ</sup>

未<sup>タ</sup>可得<sup>ル</sup>離<sup>ニ</sup>三途<sup>ノ</sup>身<sup>ヲ</sup>

トイヘリ。念佛ヲ修センモノハ。餘行ヲソレルヘカラス。ソレラハ  
スナハ千。彌陀ノ悲願<sup>ヒ</sup>ニソムクヘキユヘ也。餘行ヲ修セン者  
モ。念佛ヲソレルヘカラス。又諸佛ノ本誓<sup>セイ</sup>ニタカフカユヘナリ。  
シカルヲイテ。真言<sup>マコト</sup>止觀<sup>シ</sup>ノ窓<sup>マド</sup>ノミヘニハ。念佛ノ行ヲソレル。一  
向專念ノ床<sup>ユカ</sup>ノウヘニハ。諸餘ノ行ヲソレルトモニ我々偏執  
ノ心ヲモテ。義理ヲタテ。タカヒニ。ヲノヲノ是非ノオモヒニ住<sup>マ</sup>  
テ。會<sup>エ</sup>尺<sup>シキ</sup>ヲナス。アニコレ正義ニカナハンヤ。ミナトモニ佛意ニソム  
ケリ。ツキニ又難<sup>ナ</sup>者ノイハク。今來ノ念佛者。私<sup>シ</sup>ノ義ヲタテ。  
惡業<sup>アクコト</sup>ヲオソル。ハ。彌陀ノ本願ヲ信セサル也。數遍ヲカサヌ  
ルハ。一念ノ往生ヲウタカフ也。行業ヲイヘハ。一念十念ニ

タリヌレ。カルカユニ。數遍ヲソムヘカラス。惡業ヲイヘハ。四重<sup>シ</sup>五逆<sup>ゴ</sup>  
ナソムル。ユニ。諸惡ヲハカルヘカラストイヘリ。コノ義マタクレカル  
カラス。釋尊ノ說法ニモミテ。善導ノ尺ニモアラス。モレカクコトク  
存<sup>ゾ</sup>セモノハ。惣<sup>ソウ</sup>レテハ。諸佛ノ御心ニタカフヘシ。別<sup>ワ</sup>レテハ。彌陀ノ  
本願ニカナフヘカラス。ソノ五逆十惡ノ衆生ノ。一念十念ニヨリ  
テ。カノクニ。往生ストイフハ。ゴレ觀經ノアキラカナル文也。タニ五  
逆ヲツクリテ。十念ヲトナヘヨ。十惡ヲカシテ。一念ヲ申セトス。  
ムルニアラス。ソレ十重ヲタモキテ。十念ヲトナヘヨ。四十八輕ヲ  
ニモリテ。四十八願ヲタノム。心ニラカク。コヒ子カフトコロナリ。オホ  
クイッレノ行ヲ。モハラニストモ。心ニ飛行ヲタモキテ。淨<sup>ス</sup>穢<sup>ケ</sup>ヲモ  
ルカコトクニシ。身ノ威儀<sup>イキ</sup>ニ油鉢<sup>アハ</sup>ヲカタフケスハ。行トシテ成

就せストイフ事ナシ。願トシテ圓滿せストイフコトナシ。シカル  
ヲワレラ或ハ四重ヲカレアルヒ六十惡ヲ行スカシモヲカシ  
コレモ行ス。一人トシテ。二コトノ飛行ヲ具シタル者ハナシ。諸  
惡莫作。諸善奉行ハ。三世ノ諸佛ノ通戒也。善ヲ修スル  
モノハ善趣ノ報ヲ云。惡ヲ行スル者ハ惡道ノ果ヲ感ストイ  
フ。コノ因果ノ道理ヲキケトモキカサルカコトビ。ハシメテイフニ  
アタハス。シカレトモ。分ニシタカヒテ。惡業ヲト、メヨ。縁ニフレテ  
念佛ヲ行シ。往生ヲ期スヘシ。惡人ヲステラレスハ。善人ナン  
ノキラハン。ツミヲオツル、ハ本願ヲラタカフト。コノ宗ニマタク  
存せサルトコロ也。次、一念十念ニヨリテ。カノクニ、往生ス  
トイフハ。釋尊ノ金言也。觀經ノアキラカナル文ナリ。善導

和尚ノ尺ニイハク。下至十聲華。定得往生。乃至一念無  
有疑心。故名深心トイヘリ。又イハク。行住坐卧不問時  
節。又近念々不捨者。是名正定之業。順彼佛願。故ト  
イヘリ。シカレハ。信ヲ一念ニムルトシリテ。行スハ。一形ニハケ  
ムヘシトス、ムル也。彌陀ノ本願ヲ信シテ。念佛ノ功ツモリ。  
蓮心トシヒサシクハ。ナシノ願カヲ信セストイフヘキヤ。スヘテ  
薄地ノ丸夫。彌陀ノ淨土ニムレシ事。他カニアラスハ。ミナ  
道タエタルキ事也。オホヨソ。十方世界ノ諸佛善逝穢土  
ノ衆生ヲ引導せんカヌニ。穢土ニシテ。正覺ヲトナヘ。淨土ノ衆  
生ヲ化せカヌニ。淨土ニシテ。正覺ヲナリ給フニ。阿彌陀佛ハ。  
淨土ニシテ。正覺ヲ成テ。シカモ穢土ノ衆生ヲ引導せんトイフ。

願ヲタテ給ヘリ。ノ穢土ニシテ正覺ヲトナフレハ。隨類應同ノ相ヲレメスカユニ。イノチチカハラスシテ。トク涅槃ニイリヌ。ミタ淨土ニシテ正覺フレハ。報佛報土ニシテ。地上ノ大菩薩ノ所居也。未断惑ノ凡夫ハ。タチニムル、事アタハス。シカルライ。淨土ヲ在嚴シ。佛道ヲ修行スル。本意全ト造惡不善ノトモカラノ輪轉キハマリナカラシヲ引導シ。破戒淺智ノヤカラノ。出離ノ期ナカラシヲアハレシニカタメ也。モシソノ三賢ヲ證シ。十地ヲキハメタル。又行ノ聖人。深位ノ菩薩。六度萬行ヲ具足シ。諸波羅密ヲ修行シテ。ムル、トイハ。コレ大悲ノ本意ニアラス。ゴノ酬因感果ノコトハリヲ。大慈大悲ノ御心ノヲチニ思惟シテ。年序ソラニツモリテ。星霜五劫ニヨヘリシ

カルニ。善巧方便ヲメクラシテ。思惟シ給ヘリ。シカモワレ別願ヲモテ。淨土ニ居シテ。薄地底下ノ衆生ヲ引導スヘシ。ソノ衆生ノ業力ニヨリテ。ムル、トイハ。カタカルヘシ。ワレスヘカラクハ。衆生ノタメニ。永劫ノ修行ヲオクリ。僧祇ノ苦行ヲメクラシテ。萬行萬善ノ果徳圓滿シ。自覺々他ノ覺行窮滿シテ。ソノ成就セントコロノ。萬徳無漏ノ功德ヲモテ。ワカ名号トシテ。衆生ニトナヘシメシ。衆生モシコレニツイテ。信ヲイタシテ。稱念セハ。ワカ願ニコタヘテ。ムル、事ヲウヘシ。名號ヲトナヘハ。公ニルヘキ別願ヲオコシテ。ソノ願成就セハ。佛ニナルヘキカユヘナリ。コノ願モシ満足セスハ。永劫ヲフトモワレ正覺ヲトラシタ。ハシ未來惡世ノ衆生。憍慢懈怠ニシテ。コレ

ニツイテ。信ヲオコス事。カタカルヘシ。一佛ニ佛ノ。トキ給ハシ  
 ニ。オンラクハ。ウタカフ心ヲナサン事ヲ。子カハクハ。ウレ十方ノ諸  
 佛ニコトコトク。ヲ願ヲ稱揚セラレ。タテツラント千カヒテ。第  
 十、七ノ願ニ。設我得佛十方世界無量諸佛不悉咨嗟  
 稱我名者不取正覺トタテ給ヒテ。ツキニ第十八ノ願ノ。  
 乃至十念若不生者不取正覺トタテ給ヘリ。ソノム子。無  
 量ノ諸佛ニ。稱揚セラレタテ。ツラント。タテ給ヘリ。願成就ス  
 ルユヘニ。六方ニヲノヲノ恒河沙ノホトケマシマシテ。廣長ノ  
 舌相ヲ出シテ。アマ子ク三千大千世界ニオホヒテ。ミナヲ十  
 シク。コノ事ヲコトナリト。譯誠シ給ヘリ。善導コレヲ尺シテ  
 ノ給ハクモシコノ證ニヨリテ。ムマル、事ヲ得スハ。六方ノ諸

佛ノノヘ給ヘル舌口ヨリイテヲハリテ。ノキツ井ニ口ニカヘリ  
 イラスシテ。自然ニヤフレミタシントノ給ヘリ。コレヲ信セサラシ  
 モノハ。スナハチ。十方恒沙ノ諸佛ノ御シタヲヤフル也。ヨクヨ  
 ク信スヘシ。一佛ニ佛ノ御舌ヲヤラシタシモアリ。イカニハ  
 ムヤ。十方恒沙ノ諸佛ヲヤ。大地微塵劫ヲ超過ストモ。イ  
 マタニ途ノ身ヲ。六九ヘカラストノ給ヘリ。彌陀ノ四十八願  
 トイフハ。無三惡趣不更惡趣乃至念佛往生等ノ願コ  
 レナリ。スヘテ四十八願ノナカニ。イツレノ願カ。一トシテ成就  
 シ給ハヌ願アルヘキ。願コトニ不取正覺トチカヒテ。イニステニ  
 正覺ヲナリ給ヘル故也。然ヲ無三惡趣ノ願ヲ信セスシテ。  
 カノ國ニ惡道アリトイフ者ハナシ。不更惡趣ノ願ヲ信セス

シテカノクニノ衆生。イノチヲハリテ。ノチ又惡道ニカヘルトイ  
フ者ハナシ。悉皆金色ノ願ヲ信せスレテ。カノクニノ衆生ハ。  
金色ナルモアリ。白色ナルモアリトイフ者ハナシ。無有好醜  
ノ願ヲ信せスレテ。カノクニノ衆生ハ。カタチヨキモアリ。ソロキモ  
アリトイフ者ハナシ。乃至天眼天耳光明壽命。ヲヨヒ得  
上法忍ノ願ニイタルマテ。コレニヨイテ。タタカヒヲナス者ハ。イ  
マタハンヘラス。タ、第十八ノ願ニヨイテ。念佛往生ノ願。ヒト  
ツヲ信せサル也。コノ願ヲタタカハ。餘ノ願ヲモ信スヘカラス。  
餘ノ願ヲ信せハ。コノ願ヲタタカフヘケンヤ。法蔵比丘イ、  
タホトケニナリ給ハストイハ。コレ謗法ニナリナン。カレモシ又  
ナリ給ヘリトイハ。イカ、コノ願ヲタタカフヘキヤ。四十八願

ノ彌陀善逝ハ正覺ヲ十劫ニトナヘ給ヘリ。六方恒沙ノ  
諸佛如來ハ。舌相ヲ三千世界ニノヘ給ヘリ。タレカコレヲ信  
せサルヘキヤ。善道コノ信ヲ釋シテノ給ハク。化佛報佛若一  
若多乃至十方ニ遍シテ。ヒカリヲカ、ヤカシ。シタヲハキテア  
マ子ク。十方ニオホヒテ。コノ事靈妄ナリトノ給ハンニモ。畢竟  
シテ。一念疑殆ノ心ヲオコサシトノ給ヘリ。シカルヲイ、行者  
タ千異學異見ノタメニ。タヤスコレヲヤフラル。イカニイハンヤ。  
報佛化佛ノノ給ハンヤ。ソモソモコノ行ヲステハ。イツレノヲコ  
ナヒニカ。オモムキ給ヘキ。智慧ナケレハ。聖教ヲヒラクニ。ニナコクヲ  
シ。財寶ナケレハ。布施ヲ行スルニ。チカラナシ。ムカシ波羅奈國  
ニ太子アリキ。大施太子ト申キ。貧人ヲアハレミテ。クラヲヒラ

キテ。モロモロノタカラヲ出シテ。アタヘ給ニ。タカラハツタレトモ。  
 マツレキ者ハツクヘカラス。コノニ太子ウミノナカニ。如意寶珠<sup>ヨイホツシユ</sup>  
 アリトキク。海ニユキテ。モトメテ。マツレキ者。タカラヲアタヘントキ  
 カヒテ。龍宮<sup>リウキウ</sup>ニユキ給ニ。龍主<sup>リウシュ</sup>オトロキアヤシミテ。オホロケノ人ニ  
 ハアラストイヒテ。身ツカラムカヒテ。タカラノユカニスエタテマツル。ハ  
 ルカニキタリ給ヘル心サレ。何事ヲモトメ給ソトトヘハ。太子ノ  
 給ハク。閻浮提<sup>エンブタイ</sup>ノ人マツレクテ。クルシム事オホレ。王ノモトノリ  
 ノ十カノ寶珠<sup>ホツシユ</sup>ヲコハンカタメニキタル也。トノ給ヘハ。王ノイハクシ  
 カラハ。七日コノニトノマリテ。ワカ供養<sup>クヤウ</sup>ヲウケ給ヘソノノ千タカ  
 ラヲタテマツラントイフ。太子七日ヲヘテタマエ給ヌ。龍神ソ  
 コヨリ。ヲクリタテマツル。スナハ千本國ノキレニイタリヌ。コノニモロ

モロノ龍神<sup>リウジン</sup>ナケイテイハク。コノタマハ海中<sup>カイチウ</sup>ノタカラ也。ナヲト  
 リ返レテゾ。ヨカルヘキトサタム。海神人ニナリテ。太子ノ御マヘ  
 ニキタリテイハク。君世<sup>キミヨ</sup>ニマレナル宝<sup>タカラ</sup>ヲエ給ヘリ。トクワレニミセ  
 給ヘトイフ。太子コレヲミセ給ニ。ウバヒトリテウミヘイリヌ。太  
 子ナケキテ。千カヒテイハク。ナン千モシタマヲ返サスニハ。ウミヲク  
 ミホサントイフ。海神イテ。ウラヒテイハク。ナン千ハ。モトモ。ヲロカナ  
 ル人カナ。ソラノ日ヲハ。オトシモレテシ。ハヤキセヲハトノメモシテ  
 ニ。ウミノミツヲハツクスヘカラストイフ。太子ノ給ハク。恩愛<sup>オンアイ</sup>ノタ  
 ヘカタキヲモナ。ヲトノメントオモフ。生死ノツクシカタキヲモ。ナヲ  
 ツクサント思フ。イハシヤ。ウミノ水オホシトイフトモ。ガキリアル。モ  
 シコノ世ニクミツクサスハ。世々<sup>ヨヨ</sup>ヲヘテモ。カナラス。クミツクサント。千



カヒテ、財ノカラヲトリテ、ウミノ水ヲクム。千カヒノ心ニコトナルカ  
故ニモロモロノ天人コトコトクキタリテ、アミノハコロモノソテニ  
ツ、ミテ鐵圍山ノホカニクミヲク。太子一度ニ度カイノカラ  
ヲモテ、多ミ給ニ海水十分カハ分ハウセヌ。龍王サハキアハテ  
、ワガスミカムナレクナリナントスト。ワビテタマヲ返シタテ、ツル  
太子コレヲトリテ、ミヤコニ歸テ、モロモロノタカラヲフラシテ、閻浮  
提ノウチニ、タカラヲフラサ、ルトコロナレ。クルレキヲレノキテ、退  
セサリレカハ、コレヲ精進波羅密トイフ。ムカシノ太子ハ萬里  
ノナミヲレノキテ、龍宮ノ如意寶珠ヲ得給ヘリ。イマノワレハ  
ハ、二河ノ水火ヲウケテ、彌陀本願ノ寶珠ヲ得タリ。カレハ  
龍神ノク井シガタメニ、ウハ、レコレハ異學異見ノタメニ、ウハ

ハル。カレハ貝ノカラヲモテ、大海ヲクミレカハ、六欲四禪ノ諸  
天來テオナシククミキ。コレハ信ノ手ヲモテ、疑謗ノ難ヲクハ  
六方恒沙ノ諸佛キタリテ、クミレ給ヘシ。カレハ大海ノ水ヤ  
ウヤクツキレカハ、龍宮ノイラカアラハレテ、如意寶珠ヲ返シ  
トリキ。コレハ疑難ノナミ。コトコトクツキナハ、謗家ノイラカアラ  
ハレシ。本願ノ寶珠ヲ返シルヘシ。カレハ返シトリテ、閻浮提  
ニシテ、貧窮ノタミヲアハレシ。コレハ返シトリテ、極樂ニムレテ。  
薄地ノトモカラヲ、ミキヒクヘシ。子カハクハ、モロモロノ行者彌  
陀本願ノ寶珠ヲイミタウバヒトラレサラン人ハ、フカク信心ノ  
ソコニオサメヨ。モリスナワチトラレタランモノハ、スミヤカニ深信  
ノ手ヲモテ、疑謗ノナミヲクメ。タカラヲステ、手ヲムナレシテ。

歸ヘル事ナカレ。イカナル彌隆ナ。十リ念ノ悲願ヲオコシテ。十  
方ノ衆生ヲ攝取シ給フ。イカナルワレラカ。六字ノ名号ヲト  
テヘテ。三輩ノ往生ヲトケサシ。求劫ノ修行ハ。コレタレカタメソ。  
未來ノ衆生ニユツリ給フ。超世ノ悲願ハ。又ナンノ断ソ。心  
サシヲ未法ノワレラニヲクリ給フ。ワレラモレ。往生ヲトクヘカ  
ラスハ。ホトケアニ正覺ヲナリ給ヘシ。ヤ。ワレラ又往生トケミシ  
ヤ。ワレラカ往生ハ。ホトケノ正覺ニヨリ。ホトケノ正覺ハ。ワレラ  
カ往生ニヨル。若不生者ノチカヒ。コレヲモテシリ。不取正覺  
ノコトハ。カキリアルヲヤ云。

第三十三卷

第一段

カクテ南都北嶺ノ訥詔。次第ニトマリ。專修念佛ノ興  
行無爲ニスルところニ。翌年。建永元年十一月九日。  
後鳥羽院。熊野山ノ臨幸アリキ。ソノコロ。上人ノ門徒住  
蓮安樂寺ノトモカラ。東山鹿ノ谷ニシテ。別時念佛スレメ。  
六時禮讚ヲツトメケル。サシミルフ。柏子ナク。各哀歎悲喜ノ  
音曲ヲナスサ。メツラレシ。タウトカリケレハ。聽衆オホクアツマリテ。  
發心スル人モアマタキコエシナカニ。御所ノ御留守ノ女房。  
出家ノ事アリケル程ニ。還幸ノノチ。アレサミニ談シ申人ヤ。ア  
リケン。オホキニ逆鱗アリテ。翌年。建永二年二月九日。住  
蓮安樂寺庭上ニメサレテ。果科セラル。トキ。安樂見有修  
行起。眞毒方便破壊競生。亦如此生盲闍提。葦毀滅。

頓教<sup>ラ</sup>氷沈淪<sup>ム</sup>超過<sup>ス</sup>大地<sup>ニ</sup>微塵<sup>ハ</sup>未<sup>レ</sup>可<sup>ク</sup>得<sup>ル</sup>離<sup>ニ</sup>三途<sup>身</sup>文<sup>ヲ</sup>誦<sup>シ</sup>ケル<sup>ニ</sup>逆鱗<sup>ノ</sup>イヨイヨサカリニシテ。官人<sup>ノ</sup>秀能<sup>ニ</sup>オホセテ。六條川<sup>ハ</sup>原<sup>ニ</sup>シテ。安樂<sup>ヲ</sup>死罪<sup>ニ</sup>ラコナハル<sup>ル</sup>時<sup>ハ</sup>奉行<sup>ノ</sup>官人<sup>ニ</sup>イトマコヒトリ<sup>リ</sup>日<sup>ニ</sup>没<sup>ス</sup>ノ禮讚<sup>ヲ</sup>行スル<sup>ニ</sup>紫雲<sup>ヲ</sup>ソラニ。三千<sup>ケ</sup>レハ。諸人<sup>ノ</sup>アヤレミラ<sup>ナ</sup>ストコロニ。安樂<sup>申</sup>ケル<sup>ハ</sup>念佛<sup>數</sup>百遍<sup>ノ</sup>千<sup>十</sup>リ念<sup>ヲ</sup>唱<sup>ヘ</sup>ンヲ。ミチテ<sup>キ</sup>ル<sup>ヘ</sup>シ。合掌<sup>ミ</sup>タ<sup>レ</sup>ス<sup>シ</sup>テ。右<sup>ニ</sup>フサ<sup>ハ</sup>本意<sup>ヲ</sup>ラトケ<sup>ヌ</sup>ト知<sup>ヘ</sup>シト。イヒテ。高聲<sup>ノ</sup>念佛<sup>數</sup>百遍<sup>ノ</sup>千<sup>十</sup>念<sup>ミ</sup>ケル<sup>ニ</sup>。イヒツル<sup>ニ</sup>タカハス。合掌<sup>ミ</sup>タ<sup>レ</sup>ス<sup>シ</sup>テ。右<sup>ニ</sup>フ<sup>レ</sup>シ<sup>ケ</sup>リ。見聞<sup>ノ</sup>諸人<sup>ノ</sup>隨喜<sup>ノ</sup>涙<sup>ヲ</sup>ナカレ。念佛<sup>ニ</sup>歸<sup>ス</sup>ル<sup>人</sup>オホカリ<sup>ケ</sup>リ

第二段

罪惡<sup>ノ</sup>生死<sup>ノ</sup>タクヒ。愚癡<sup>ノ</sup>暗鈍<sup>ノ</sup>トモカラ。レカレ<sup>ナ</sup>カラ。上人

ノ化導<sup>ニ</sup>ヨリテ。ヒトヘニ彌陀<sup>ノ</sup>本願<sup>ヲ</sup>タノム<sup>ト</sup>コロニ。天魔<sup>ヲ</sup>キソ<sup>ヒ</sup>ケン。安樂<sup>死</sup>刑<sup>ニ</sup>ヲヨヒテ<sup>ノ</sup>千毛<sup>逆鱗</sup>ナヲヤ<sup>メ</sup>ス<sup>シ</sup>テ。カサ子<sup>テ</sup>弟子<sup>ノ</sup>トカラ。師匠<sup>ニ</sup>ヲヨホサレ。度縁<sup>ヲ</sup>メ<sup>レ</sup>。俗名<sup>ヲ</sup>クダサレテ。遠流<sup>ノ</sup>科<sup>ニ</sup>サタ<sup>メ</sup>ラル<sup>ル</sup>。藤井<sup>ノ</sup>元彦<sup>云</sup>カ<sup>ノ</sup>宣<sup>下</sup>状<sup>ニ</sup>云<sup>ク</sup>。太政官<sup>符</sup> 土左國<sup>司</sup> 流人<sup>藤井ノ元彦</sup>

使<sup>左衛門ノ府生</sup>清原<sup>ノ武次</sup>二人

門部<sup>二人</sup> 徒<sup>各一人</sup>

右流人<sup>元彦</sup>ヲ領送<sup>ノ</sup>タ<sup>メ</sup>ニ。クタン<sup>ヲ</sup>ノ人<sup>ヲ</sup>サ<sup>レ</sup>テ。發遣<sup>ク</sup>タ<sup>ン</sup>ノコト<sup>シ</sup>。國<sup>ヨ</sup>ロ<sup>シ</sup>ク兼知<sup>シ</sup>テ。例<sup>ニ</sup>ヨリテ。コシ<sup>ヲ</sup>コナ<sup>ヘ</sup>ル路次<sup>ノ</sup>國<sup>ニ</sup>タヨロ<sup>シ</sup>ク食濟具<sup>馬</sup>參<sup>足</sup>ヲタ<sup>マ</sup>ス<sup>ヘ</sup>シ。符到<sup>奉</sup>

行

建永二年二月廿八日右大史中原朝臣判  
右少弁藤原朝臣

追補ノ檢非遠使ハ宗府生久經領送使ハ左衛門ノ  
府生武次ナリ。上人ノ勸化ヲアフク貴賤。往生ノ索懷  
ヲノム道俗ナケキカナレム事。タトヘヲトルニモノナレ

第三段

閉第等ナケキアヘルナカニ法蓮房申サレケルハ住蓮安樂  
ハステニ罪科セラレヌ。上人ノ流罪ハタ、一向專修興行ノ  
故ト云レカレニ老邁ノ御身遠遠ノ海波ニオモムキニシサ  
ハ御命安全ナラレ。我等恩願ヲ拜シ。嚴旨ヲウケ給コトア

ルヘラス。又師匠流刑ノ罪ニシタマハズコリト、マル閉第。  
面目アラニヤ。カツハ勅命ナリ。一向專修ノ興行ヲト、ムヘ  
キヨシヲ奏シタマヒテ。内々御化導アルヘクヤ侍ラント申サ  
レケルニ。一座ノ閉第オホク。コノ義ニ同レケルニ。上人ノ給ハ  
ク。流刑サニニウラミトスヘカラス。ソノユヘハ。齒ステニ。ハ旬ニ世  
ナリヌ。タトヒ師弟オナレミ。カコニ住ストモ。娑婆ノ離別チカキニ  
アルヘシ。タトヒ山海ヲヘタツトモ。淨土ノ再會ナンソウカハ  
ム。又イトフトイヘトモ。存スルハ人ノ身ナリ。オシムトイヘトモ。死  
スルハ人ノイノチナリ。ナンソカナラスレモ。トコロニヨラシヤ。レカ  
ノミナラス。念佛ノ興行。洛陽ニシテ。ヒサレク邊鄙ニオモムキ  
テ。田夫野人ラス、メシ事。年々ノ本意ナリ。シカレトモ。時イ

タラスシテ。素意イニタハサス。イニ事ノ縁ヨリテ。年来ノ本  
 意ヲトクニ事。スコフル朝恩トモイフヘシ。コノ法ノ弘通ハ人  
 ハト、メムトストモ。法サラニト、ニルヘカラス。諸佛濟度ノチ  
 カヒフカク。眞衆護持ノ約子ニコロナリ。シカレハ。ガソノ世間  
 ノ機嫌ヲハ、カリテ。經尺ノ素意ヲカクスヘキヤ。タ、レイタム  
 トコロハ。源空カ真スル淨土ノ法門ハ。濁世末代ノ衆生ノ  
 決定出離ノ要道ナルカユニ。常隨守護ノ神祇冥道サタ  
 メテ。無道ノ障難ヲトカメ給ハシカ。命アラントモカラ。因果ノ  
 ムナレカラサル事ヲ。オモヒアハスヘシ。因縁ツキスハ。ナンソ又介  
 生ノ再會ナカラ。ヤトソ。オホセラレケル。タ、下人ノ弟子ニ對  
 シテ。一向專念ノ義ヲノヘ給ニ。御弟子西阿彌陀佛推參

レテカクノコトクノ御義。ユメユメアルヘカラス。ヲノヲノ御返事  
 ヲ。申給ヘカラスト申ケレハ。上人ノ給ハク。汝經尺ノ文ヲミ  
 スヤト。西阿申サク。經尺ノ文ハ。レカリトイヘトモ。世間ノ機  
 嫌ヲ存スルハカリナリト。上人又ノタマハク。ワレタトヒ。死罪ニ  
 シコナハルトモ。コノ事イハズハ。アルヘカラスト。至誠ノイロモトモ  
 切ナリ。見タテツル人ミナ。涙ヲソオトレケル

第四段

官人小松谷ノ御房ニムカヒテ。イソキ配所ヘウツリ給ヘキ  
 ヲ。レラ責申ケレハ。ツ井ニミヤコライテ。タマフ。月輪殿御餘波  
 ヲオレミテ。法性寺ノ小御堂ニ。一夜トメタテマツラレケリ。  
 禪定殿下ハ。忠仁公十一代ノ後胤累代攝録ノ臣ト

レテ。朝家ノ憲政。詩歌ノ才。君コレヲユル。世コレヲア  
キタテミツル。榮花重職ノ豪家ニアソヒ給トイヘトモ。ヒトヘ  
ニ。順次。往生ノ御ノツミフカハリケリ。御出家ノ後ハ。數年  
上ノ人ヲ囑レテ。出離ノ要道ヲタツ子。浄土ノ法門ヲ談  
タマフ。上人ノ頭光ヲミアタリ。拜見シ給レノチハ。一向ニ生  
身ノ佛ノオモヒヲナシ給キ。シカルヲハカラサルニ。勅勘ヲカフリタ  
マフヨレヲキコレメスヨリ。御ナケキナヲサリナラス。去年。建永  
元年三月七日。後ノ京極殿。ニハカニカクセサセ給キ。御ト  
シワツカニ。二十八ニソナリ給ケル。コレニツキテ。イヨイヨ。今生  
ノ事ヲオホシメステ。ヒトスチニ。後生菩提ノ御イトナミナ  
リ。上人ニツ子ニ。御對面アリテ。生死無常ノコトハリヲモ。キ

コレメサシ。往生浄土ノ御ツトメ。功ヲカサ子ツ。聊御心ヲ  
モナクサメ給ケルニ。上人左遷ノ罪ニ。アタリ給ヌル事。イカナ  
ル宿業ニテ。カハルコトヲ。ミキクラントテ。勅勘ヲカフリタマヘ  
ル。上人ハ御歎イトナカリケルニ。禪閣ノ御悲アサカラサリケ  
リ。ミタテミツル人モ。心ノヲキトコロナキ程ナリ。コノ事ヲ申ト  
トメサル事。イキテ世ニアルカヒナケレトモ。御勘氣ノハレメナリ。  
左右ナク申サンモ。ソノ恐フカシ。連々ニ御氣色ヲウカハヒ  
テ。勅免ヲ申ヲコナフヘシトソ。オホセラレケル

第三十四卷

第一段

三月十六日ニ。花洛ヲイテ。夷境ニオモムキ給ニ。信濃國

ノ御家人。肩張ノ成阿彌陀佛。力者ノ棟梁トシテ。最後ノ御トモナリトテ。御輿ヲカク。オナレサニシ。シタカヒタテ。ツル僧。六十餘人ナリ。オホヨノ。上人ノ一期ノ威儀ハ。馬車輿ナトニリ。絡ハス。金剛草履ニテ。步行シ給キ。カレトモ。老邁ノウヘ。長途タヤスカラサルニヨリテ。乘輿アリケルニコソ。御ナコリヲオシシ。前後左右ニ。ハシリシタカフ人。幾千萬トイフ事ヲシラス。貴賤ノカナシムコエ。千ニタニミ。千。道俗ノシタウナミタ。地ヲタルホス。カレライサメ給ケルコトハニハ。驛路ハコシ。太聖ノユク所也。漢家ニハ。一行阿闍梨。日城ニハ。役優婆塞。滿勉ハ又權化ノス。所ナリ。震且ニハ。白樂天吾朝ニハ。管蓋相ナリ。在纏出纏。ミナ火宅ナリ。真諦俗諦。レカレナカラ。欽恐

水驛ナリトソ。オホセラレケル。サテ禪定殿下。土佐國ニハ。アヘリニハルカナル程ナリ。ワカ知行ノ國ナレハトテ。讃岐國ヘソ。ウツシタテマツラレケル。御ナコリヤルカタナク。オホシメサレケルニヤ。禪閣御消息ヲ送ラレケルニ。フリステ、ユクハワカレハレナレトフミワタスヘキコトヲレソ思フト侍ケレハ。上人御返事。

露ノ身ハコ、カレコニテキエヌトモ。心ハオナレ花ノウテナソ

### 第二段

鳥羽ノミナミノ門ヨリ。川船ニノリテ。クタリタマフ

### 第三段

攝津國經ノ嶋ニツキ給ニケリ。カノレハ。平相國安元ノ

寶曆ニ一千部ノ法華經ヲ石ノ面ニ書寫シテ漫々タル波ノ底ニレツム鱗々タル魚鱗ヲスクハンカタメニ村里ノ男女老少ソノカスオホクアツマリテ上人ニ結縁シタテマツリケリ

第四段

播磨國高砂ノ浦ニツキ給ニ人ヲホク結縁シケルナカニ七旬アマリノ老翁六十アマリノ老女夫婦ナリケルカ申ケルハワカ身ハコノ浦ノアマ人ナリオサナクヨリスナトリヲ業トレアレタユフヘニイロクツノ命ヲタチテ世ヲワタルハカリコトノスモノノ命ヲコロスモノハ地獄ニオチテクルシミタヘカタク侍ナルニイカレテコレヲマヌカレ侍ルヘキタスケサセ給ヘトテ

手ヲアハセテナキケリ上人アハレミテ汝カコトク丸モノモ南無アミタフトトナフレハ佛ノ悲願ニ乗シテ浄土ニ往生スヘキム子子シコロニラレヘ給ケレハ二人トモニ涙ニムセヒツヨロコヒケリ上人ノ仰ヲウケタマハリテ後ハヒルハ浦ニイテハ手ニスナトリスル事ヤサリケレトモ口ニハ各号ヲトナヘヨルハ家ニカヘリテ二人トモニコエヲアケテ終夜念佛スル事アタリノ人モオトロクハカリナリケリツ井ニ臨終正念ニシテ往生ヲトケニケルヨシツタヘキ終テ機類萬品ナレトモ念佛スレハ往生スル現證ナリトソオホセラレケル

第五段

同國室ノ池ニツキ給ニ小船一艘千カツキタルコレ遊女



カ。フ子ナリケリ。遊女申サク。上人ノ御船ノヨシウケタマハリ  
テ。推參シ侍ナリ。世ヲワタル道。チチナリ。イカナルツミアリテ。  
カカ、ル身トナリ侍ラン。コノ罪業ヲモヤ身。イカニシテカ。ノチ  
ノ世タスカリ候ヘキト。申ケレハ。上人アハレミテノ給ハク。ケニモ  
サヤウニテ。世ヲワタリ給ラン。罪障マコトニ。カロカラサシハ。酬  
報マタハカリカタシ。モシ、カラスレテ。世ヲワタリ給又ヘキハカリ  
コトアラハス。ミヤカニ。ソノヲサラステ給ヘシ。モシ餘ノハカリコト  
モナク。又身命ヲカヘリミサルホト。道心イマタオコリタマハス  
ハ。タハソノマ、ニテ。モハラ念佛スヘシ。彌陀如來ハ。サヤウナル  
罪人ノタメニ。コノ弘誓ヲモタテタマヘル事ニテ侍レ。タ、フカ  
ク本願ヲタノミテ。アヘテ卑下スルコトナカシ。本願ヲタノミテ。

念佛世ハ往生ウタカヒアルマシキヨシ。子ニコロニヲレヘ給ケレ  
ハ。遊女隨喜ノ涙ヲナカレケリ。ノチニ上人ノ給ケルハ。コノ遊  
女信心堅固ナリ。サタメテ。往生ヲトグヘシト。歸洛ノトキ。コ  
コニテタツ子給ケレハ。上人ノ御教訓ヲウケタマハリテノチハ。コ  
ノアタリチカキ。山里ニスミテ。一スチニ。念佛レ侍レカ。イクホト  
ナクテ。臨終正念ニシテ。往生ヲトケ侍キト。人申ケレハ。レツ  
ランレツラントソ。オホセラレケル

第三十五卷

第一段

三月廿六日。讃岐國塩飽ノ地頭駿河權守高階保  
遠入道西忍カ館ニツキ給ニケリ。西忍去夜ノ夢ニ。満月

輪ノヒカリ。赫奕タル。タモトニヤトルトミテ。アヤシミオモヒケル  
ニ。上人入御アリケレハ。コノ事ナリケリト。思ヒアハセケリ。藥  
湯ヲマウケ。羨勝ヲトヘ。サマサニモテナシタテマツル。上人  
念佛往生ノ道。コマカニサツケ給ケリ。ナカニモ。不輕大士ノ  
杖木尾石ヲレノヒテ。四衆ノ縁ヲムスヒ給レカコトク。イカナ  
ルハカリ事ヲメクラレテモ。人ヲス、メテ。念佛せシメタマヘ。アヘ  
テ人ノタメニハ。侍ヌソト。カヘスカヘス。附屬シ給ケレハ。フカクオ  
ホセノム子ヲマモルヘキヨレヲ。申ケルゾノ、チハ。自行化他  
念佛ノホカ。他事ナカリケリ

第二段

讚岐國子松庄ニオチツキ給ニケリ。當庄ノ内。生福寺ト

イフ寺ニ住シテ。無常ノコトハリヲトキ。念佛ノ行ヲス、メ給  
ケレハ。當國近國ノ男女貴賤。化導ニシタカフモノ。市ノコト  
シ。或ハ邪見放逸ノ事業ヲアラタメ。或ハ自力難行ノ執  
情ヲステ、念佛ニ歸シ。往生ヲトクルモノ。オホカリケリ。邊土  
ノ利益ヲオモヘハ。朝恩ナリトヨロコヒ給ケルモ。ニコトニ。コトハ  
リニソオホエ侍ル。カノ寺ノ本尊。モトハ阿彌陀ノ一尊ニテ。オ  
ハレケルヲ。在國ノアヒタ。脇士ヲツクリクハヘラレケルヲ。チ。  
勢至ヲハ。上人ミツカラツクリ給テ。法然本地身。大勢至  
菩薩。爲度衆生。故顯置此道場。我毎日影向擁護歸  
依衆。必引道極樂。若我此願念。不令成就者。永不取  
正覺トソ。カキヲカレケル。勢至ノ化身トシテ。ミツカラソノ體

ヲアラハシ。ナノリ申サレケル。マコトニイミレク。タウトキ事ニテソ侍ケル

第三段

上人左遷ノ、千。月輪ノ禪閣朝暮ノ御ナケキアサカラス。日來ノ御不食。イヨイヨヲモラセ給テ。大漸ノ期。千カツカセ給フ。藤中納言光親卿ヲメシテ。仰ラカレケルハ。法然上人年來歸依ノイタリ。サタメテ存知アルラン。今度ノ勅勘ヲ申ユルサスレテ。謫所ヘウツラシヌル事。イキテ世ニアル甲斐ナキニ似タリ。レカレトモ。嚴旨ユルカラス。左右ナク申サンコトヲソレオホユルユヘニ。後日ヲ期シテ。スクルトコロニス。テニ終焉ニノソメリ。今生ノウラミコノ事ニアリ。我他界ニオモムクト

イフトモ。連々ニ御氣色ヲウカ、ヒテ。恩免ヲ申ヲコナハルヘシト。カキクトキ仰ラレケレハ。光親卿仰ノム子。更ニ如在ヲ存スヘカラサルヨシ申テ。涙ヲナカサレケリ。同四月五日。御臨終。正念ニシテ。念佛數十遍。禪定ニイルカコトクシテ。往生ヲトケサセ給ヌ。御トシ五十八ナリ。上人左遷ノ、千イク程ナクテ。コノ御事キコエケリ。御アハレヲレハカルヘシ。後ノ京極殿ハ。サキタ、セ給ヌ。ソノ御子。東山ノ禪閣家替ニテ。御アトヲツカセ給キ。月輪殿御歸依ノ餘慶ヲウケ。ヲナシク上人ノ勸化ヲ。御信仰アリケリ。コトニ六。方恒沙ノ諸佛ノ證誠ヲタウトミテ。阿彌陀經十萬卷。摺寫ノ大願ヲオコシ。カタ木ヲ異朝ニヒラカセラシテ。摺寫ノ弘通ヲヒロクセラ

ル。カノ經キキョウオホク吾朝カキチヨウニ流布リウフセリ。發願ハツクワンノ志趣シソ經ノ奧ウチニノセ  
ラル。カノ狀キョウ云。十萬ノ爲功キキョウニヨリテ。萬德ノ尊容ソノヨウヲ禮レシ。彌  
陀ノ說法ミタヲキ、テ普賢ノ願海クワンカイニイリ。隨類ズイレイノ形カタルヲ化現ケシ  
テ。舊土キウツチノ輩ハイヲ慈愍ジミンシ。ア、子ク長夜チヨウヤノ子コフリヲ。ヲトロカシテ。  
ヒトシク覺悟ケツブノ曉トキニイタラシメシ。衆生シュウジヤウ無始ムシノ身ミ。宴坐エンザタ、  
眼メニアリ。塵點チンテン劫數ケツスウノ業ゴフコ、ロラシツムルニ。念ネンヲイテス。哀カウレキ  
哉カヤ。コノ筆舌ヒツゼツハレメテ。コノ言語ゴンゴヲカタラン事コト。子カハクハ紫  
金シキノ毫光マウカウ。白骨ハクゴクノ緣功エンコウヲ。テラシ給たまヘトナリ  
干時カンジ文曆モンレキ第二ニ歳サイ乙未ニ仲春チュウシュン第二ニ日ニチ。從シヨ十位ジュウイ藤原朝  
臣チン道家トウカ敬白キヤウハク云ク發願ハツクワンノム子コ。自他ジタイヲカ子コ。異朝イツチヨウニヲヨホシテ。  
ソノ願ネンヲハタサレケル。御コ、ロサシマコトニタウトクモ。侍シカナ

#### 第四段

上ウヘ人流刑リウケイノヨシ。遠近エンキンニキコエシカハ。津戸ツツ三郎サンロウ爲守タモリフカ  
ク。コレヲナケキテ。遠トホ遠トホノサカヒナリトイヘトモ。武藏ブサウ國クニヨリ。讚  
岐サンキ國クニへ書狀シヨウジヤウヲ進シンスルトキ。上人ウヘノヒトノ御返事ミタマエ云ク。七月シチゲツ十四  
日ニチノ御消息ミタマシヨク。八月ハチゲツ廿一日ニチ見候ミタマエ又マタハルカノサカヒニカワウニ  
仰オホセラシテ候タマエ。御コ、ロサシ。申ウタガハシツタスヘカラス候タマエ。コトニシカル  
ヘキ事コトニテ。カワウニ候タマエト。カク申ウタガハシハカリナク候タマエ。但シカシ今イマ生ナマノ事コトハ  
コレニツケテモ。ワレモ人モ。オモヒシルヘキ事コトニ候タマエ。イトヒテモ。イ  
トハント思食オモヒクヘク候タマエ。ケフアストモレリ候タマエハ又マタ。身ミニカ、ルメヲ  
見候ミタマエ。心ココロウキ事コトニテ候タマエヘトモ。サレハコソ。穢土セツチノナラヒニテハ  
候タマエヘ。タ、トクトク件キタマ生ナマヲ。セハヤトコノ思候オモヒクヘ。タレモコレヲ。遺ツグ

恨ノ事ナトハ。ユメニモ思食ヘカラス候。レカルヘキ身ノ宿報ト申。又穢惡充滿ノサカヒ。コレニハレメ又事ニ候ヘハ。十二事ニツケテモ。タノイソキイソキ。往生ヲシテト。思ヘキコトニ候云。御文ノオモムキ。ヨニアハレニソオホエ侍ル

第五段

直聖房トイフ僧アリキ。上人ノ弟子トナリテ。一向專念ノ行ヲ修スアルトキ熊野山ヘテイリタリケルニ。上人ノ配流セラレ給ヨレヲキテ。インキ下向セントレケルニ。三ハカニ重病ヲウケテ。下向カナハサリケレハ。子シコロニ。權現ニイノリ申ケルニ。カノ僧ノ夢ニ。臨終ステニ。千カツケリ。下向レカルヘカラスト。レメレ給ヒケレハ。法然上人ノ御事アマリニ。オホツカナ

ク候ヘハ。ハカク下向レテ。ウケタマハリタク候ト。申ケレハ。カノ上人ハ。勢至菩薩ノ化現ナリ。不審スヘカラスト。カサ子テレメシ。オホセラルトミテ。夢サメヌ。其後イクホトヲヘスレテ。臨終正念ニシテ。往生ヲトケニケリ

第六段

上人在國ノアヒタ。國中靈驗ノ地。巡禮シ給フナカニ善通寺トイフテラハ。弘法大師父ノタメニ。タテラレタルテラナリケリ。コノ寺ノ記文ニ。ヒトタヒモ。マラテナン人ハ。カナラス。一向佛淨土ノトモタルヘシトアリ。コノタヒノオモヒイテ。コノ事ナリトソ。ヨロコヒオホセラレケル

傳繪詞卷七終

黒谷上人繪詞第八目錄

六三  
卷十

月輪殿光親卿上人勅免事被仰置事

大政大臣兼軍云後月輪殿

攝州勝尾寺居住事

上人歸洛事

大谷禪房居住事

七三  
卷十

上人臨終之瑞想事

武州桑原入道御影寄附事

參議兼隆卿御臨終夢想事

知恩院御廟寄進事并瑞想事

堀河太郎入道臨終事

八三  
卷十



三十九卷  
四卷十

上人中陰御佛事  
三井寺公胤僧正選擇破文悔返事  
相尾明慧上人摧邪輪事  
仁和寺靜遍僧正墓所參悔謝事

黒谷上人傳繪詞第三十六卷

第一段

月輪殿ノオホセラカル、趣ヲモテ光親卿タヒタヒ申入ラ  
ルトイヘトモ。叡慮ナラ心ヨカラス。シカル。上皇御夢想ノ御  
事アリケルウヘ。中山ノ相國頼實公。嚴親ノ善知識タリシ  
因縁ヲワスセス。上人流刑ノ事ヲナケキタマヒテ。念佛具  
行ノ事サタメテ。佛意ニツムカサランカ。閉弟ノアヤマリヲモキ  
テ。下カラ師範ニヲヨホサシ。罪科セラル、事冥鑒ハカリカタキ  
ヨシ。シキリニイサヌ申給ケレハ。オリシモ寂勝四天王院供  
養ニ大赦ヲオコナハシケルヲ。御沙汰アリテ。同年二十月  
元々改元兼十十一月八日。勅免ノ宣旨ヲクダサレケリ。

カノ狀云

太政官符

土佐國

流人藤井元彦

右正三位行權中納言兼右衛門督藤原朝臣隆衡  
宣奉勅件ノ人ハ二月廿八日事ニツミシテカノ國ニ配  
流シカルヲオモフトコロアルニヨリテコトニメシカヘサシム。但  
ヨロシク幾ノホカニ居住シテ洛中ニ往還スル事ナカルヘシ  
者國ヨロシク兼知シテ宣ニヨリテコレヲオコナヘ符到奉行  
兼元々々年十二月八日左大史小槻宿禰

權右中弁藤原ノ朝臣

勅免ノヨシ。都鄙ニキコエシカハ京都ノ門第ハ。再會ヲヨロ  
コヒ。邊鄙ノ土民ハ。餘波ヲオシム。ヨロコヒト。ナケキト。アヒナカ  
ハニテ侍リケル

第二段

上人勅免ニアツカリ給テ。國ヲイテ、ノホリ給フニ。攝津國  
押部トイフ所ニ。ハシ逗留シタラ。老少男女ヲス、メテ。念  
佛門ニイシ給事。カスヲシラサリケリ

第三段

恩免アリトイヘトモ。ナヲ洛中ノ往還ヲユルサレサリシカハ。  
攝津國勝尾寺ニ。シハラクスミタ。コノテハ。善仲善業  
ノ古跡勝如上。人往生ノ地ナリ。上人西ノ谷ニ。草菴ヲ  
△スヒテ。スミ給ケリ。オリフシ恒例ノ引聲ノ念佛アリケルニ。



僧衆ノ法服破壊シテ。ミグルシカリケシハ。弟子法蓮房ヲ  
モテ。京都ノ壇那ニオホセラシテ。裝束十五具調ヘテ施入  
セラル。寺僧ヨロコヒテ。臨時ニ七日ノ念佛ヲ勤行シケリ。カ  
ノ菴室イニニアリ。ソノ室ニイレハ。ツカラ異香ヲカクコトナ  
トモ侍トテ。アユミヲハコフ人オホク侍ル也。

第四段

當寺ニ一切經ニシメサヘルヨシヲキ、給テ上人所持ノ一  
切經論一藏ヲ施入シ給ケレハ。住侶隨喜悅豫シテ。老  
若七十餘人ハナラキラシ。香ヲタキ。幡ヲサケ。蓋ヲサシテ。  
ムカヘタテミツル。コノ經論開題供養ノタメニ。聖覺法印ヲ  
召請セラシケレハ。貴命ヲウケ。再會ヲヨロコヒテ。唱道ヲツ

開題供  
表白聖  
也ト

トメラレケリ。カノ表白ニ云。夫ハ萬ノ法蔵ハ。八萬ノ衆類  
ヲミチヒキ。一實真如ハ。一向專稱ヲアラス。カノ大聖世尊  
ノ自説シテ。南無佛ト唱タマヒシ。ソノ名ヲアラハサ、レトモ。  
意ハ彌隆ノ名號ナリ。又上宮太子ノ誕生シテ。南無佛  
ト唱タマヒ。レソノ體ヲキサ、サレトモ。コ、ロサシハ。極樂ノ教  
主ナリ。レカルニ慈覺大師ノ念佛傳燈ハ。經文ヲヒラキテ。  
寶池ノ波ニ和スレトモ。劣機ノ行ニアタハス。諸師所立ノ  
念佛三昧ハ。佛境ヲ縁シテ。心地ノ塵ヲハラヘトモ。下根ノ  
ツトメニアタハス。慧心僧都要集ニハ。三三道ヲツクリテ。一心  
ノモノハ。マヨヒヌヘシ。永觀律師ノ十因ニハ。十門ヲヒラキテ。  
一篇ニハツカス。空也上人ノ高聲念佛ハ。聞名ノ益ヲアマ

子クスレトモ。名号ノ徳ヲアラハサス。良忍上人ノ融通念  
佛ハ神祇眞道ヲス、ムレトモ。九夫ノソソミハウトシ。爰我  
大師法主 上人。行年四十ニヨリ。念佛門ニイリテ。ア子  
クス、メ。易行道ヲシメシテ。ヒロクヲシヘタマフニ。天子ノイッ  
クシキ。玉ノ冠ヲ西ニカタフケ。月卿ノカシコキ金ノ笏ヲ西ニ  
タ、レクス。皇太后ノコヒタル韋提希夫人ノアトヲオヒ。傾城ノ  
コトシナキ。五百侍女ノヨソホヒヲミナフ。シカルアヒタ。トメルハ  
ヲコリテ。モテアソヒ。ミツシキハナケキテトモトス。農夫カスキラ  
フム。念佛ヲモテ。田ウタトシ。織女カイトヲヒク。念佛ヲモテタ  
ニヌキトス。鈴ヲナラス。驛路ニハ。念佛ヲトナヘテ。鳥ヲトリ。フナ  
ハタヲタ、ク海上ニハ。念佛ヲ唱テ魚ヲツル。雪月花ヲミル

人。西樓月二日ヲカケ。琴詩酒ヲモテアソフトモカラハ。西ノ枝  
ノ梨子ヲオル。コレミナ彌陀ヲアカメサルヲハ。瑕瑾トシ。珠數  
ヲクラサルヲハ。耻辱トス。コ、ヲモテ。花旗英オナリトイヘト  
モ。念佛セサルヲハ。オトシメ。乞凶非人ナリトイヘトモ。念佛ス  
ルヲハ。モテナス。故ニハ。功德水ノ波ノウヘニハ。念佛ノハキス  
池ニミチ。ニ尊來迎ノ掌ノウチニハ。紫金臺ヲサシヲクニヒミナシ。  
シカレハ。我等カ念佛荒ハ。カノ池ノ荒廢ナリ。我等カ放  
求セサルハ。ソノ國ノ衰弊ナリ。國ノニキハヒ。佛ノタノシミ。念  
佛ヲモテモト、シ。人ノ子カヒ。ワカノソミ。念佛ヲモテサキトス。  
仍當座ノ愚昧公請ニツカヘテ。カヘル夜ハ。念佛ヲトナヘテ  
枕トシ。私宅ヲイテ、ワシル日ハ。極樂ヲ念シテ。車ヲハス。コレ

上人ノ教誠ナリ。過去ノ宿善ニアラスヤトテ鼻ヲカミ。聲ヲムセビ。舌ヲキテト、コホルアヒタ。法主ナミタヲナカレ。聽衆ソテラシホラストイフコトナレ

第五段

勝尾寺ノ隱居モステニ四箇年ニナリヌ。花洛ノ往還ナラユルサレサリレニ。建曆元年夏ノコロ。上皇ハ幡宮ニ御幸アリシトキ。一人ノ倡妓擢云。星災ニ親踈ナレタ、善人ニシミエ。王者ノ徳失ニヨリテ。國土ノ治亂アリ。ワレ南海ノ邊邑ニ訪ヘキ事アリテ。日々往反ス。苦哉々々。近代君シラク。臣ニカリテ。政ニヨリ。人ウレフ。平城ノ鎮守百主ノ宗廟連々ニ評定ノ事アリ。天下逆亂ニ率土蕙廢センサタ

メテ後悔アラシカト。還御ノ後近臣等奏申サク。倡妓力詐宣々事アラサシカ。オホヨ。夫ハ徳ニカラス。仁ミ多邪ヲ却ク。國土ヲオサムルハカリコト。徳政ニハカス。夫廢ラレリソク術佛法ニ歸スルニアリ。專修念佛停廢法然房配流尤宥御計アルヘキヲヤト。勅答アリカナラサルニ。同年七月ノヨ。上皇御夢想ノ御事ニシキ。蓮華王院ニ御參アリケルニ。衲衣著セル高僧チカツキ參シテ。奏シテ云。法然房ハ故法皇ナラヒニ。高倉先帝ノ圓戒ノ御師範ナリ。徳賢聖ニヒトシク。益當今ニアミ子シ。君大聖ノ權化ヲモテ。還俗配流ノ罪ニ處ス。咎五逆ニオナレ。苦報ヲソレサシヤト。コノ事オトロキオホシメサシテ。藤中納言光親、卿ニヒソカニ。御夢想ノ次第ヲ仰下サル

彼<sup>ノ</sup>郷<sup>ヲ</sup>オリヲエテハヤクコノ上人ノ花洛ノ往還ヲユルサルヘ  
キム子<sup>ノ</sup>類<sup>ニ</sup>奏<sup>シ</sup>申ケレハ同十月十七日彼<sup>ノ</sup>郷<sup>ノ</sup>奉行  
トシテ花洛ニ還<sup>ル</sup>歸<sup>ル</sup>アルヘキヨシ。烏頭變毛ノ宣<sup>旨</sup>ヲカラフ  
リ給ヌ。則<sup>チ</sup>同<sup>日</sup>上<sup>人</sup>歸<sup>洛</sup>シ給ケレハ。一山<sup>ノ</sup>德<sup>ヲ</sup>シタヒ。  
滿<sup>寺</sup>ナコリヲオレミテ。萬<sup>仞</sup>ノ霞<sup>ヨリ</sup>イテ。九重<sup>ノ</sup>雲<sup>ニ</sup>ソ  
ヲクリタテミツリケル。ソノ後イクハクノ歳<sup>月</sup>ヲヘス。ワツカ二十  
箇<sup>年</sup>ノ間ニ。順<sup>德</sup>院<sup>号</sup>佐<sup>渡</sup>院<sup>兼</sup>夕<sup>ノ</sup>逆<sup>亂</sup>オコリテ。天  
下<sup>ノ</sup>ミタシニヲヨヒシ。倡<sup>伎</sup>力<sup>託</sup>宣<sup>イ</sup>ニ思<sup>ア</sup>ハセラレ侍<sup>リ</sup>。又  
上人<sup>左</sup>遷<sup>ノ</sup>時<sup>門</sup>弟<sup>等</sup>歎<sup>カ</sup>ナシ<sup>ミ</sup>ケレハ。源<sup>空</sup>力<sup>興</sup>ス<sup>ル</sup>淨  
土<sup>ノ</sup>法<sup>門</sup>ハ濁<sup>世</sup>末<sup>代</sup>ノ出<sup>要</sup>ナ<sup>リ</sup>。釋<sup>尊</sup>ニ特<sup>留</sup>。此<sup>ノ</sup>經<sup>ノ</sup>  
千<sup>カ</sup>ヒフカク。諸<sup>佛</sup>ニ攝<sup>受</sup>護<sup>念</sup>ノチカラ。オホキニマシマセハコ

ノ法<sup>ノ</sup>弘<sup>通</sup>ハ。人<sup>ハ</sup>トハメ<sup>ニ</sup>トストモ。法<sup>サ</sup>ラニトマ<sup>ル</sup>ヘカラ  
ス。但<sup>イ</sup>タムトコロハ。念<sup>佛</sup>守<sup>護</sup>ノ神<sup>祇</sup>冥<sup>道</sup>サタメテ。無<sup>道</sup>  
ノ障<sup>難</sup>ヲトカメ給<sup>ハ</sup>ンカ。ノ千<sup>ニ</sup>カナラス。オモヒアハスヘレトノ  
給<sup>ケ</sup>ル事<sup>カ</sup>ノ託<sup>宣</sup>ニタカハス。マコトニ不思議<sup>ニ</sup>覺<sup>侍</sup>ル

第六段

慈<sup>鎮</sup>和<sup>尚</sup>ノ御<sup>沙</sup>汰<sup>ト</sup>シテ。大<sup>谷</sup>ノ禪<sup>房</sup>ニ居<sup>住</sup>セシメタ  
ラ。ムカシ釋<sup>尊</sup>上<sup>天</sup>ノ雲<sup>ヨリ</sup>クタリ給<sup>シ</sup>カハ。人<sup>天</sup>大<sup>會</sup>マ  
ツ拜<sup>見</sup>シタテミツラニ事<sup>ヲ</sup>アラソヒキ。イマ上人<sup>南</sup>海<sup>ノ</sup>波<sup>ヲ</sup>  
サカ<sup>ノ</sup>ホリ給<sup>ヘ</sup>ハ。道<sup>俗</sup>男<sup>女</sup>サキニ。供<sup>養</sup>ヲノベニ事<sup>ヲ</sup>イトナ  
ム。群<sup>衆</sup>ノトモカラソノ夜<sup>ノ</sup>ウチニ。一<sup>千</sup>餘<sup>人</sup>ト。キコエキ。幽<sup>ニ</sup>  
閑<sup>ノ</sup>地<sup>ヲ</sup>シメ給<sup>ト</sup>イヘトモ。日<sup>々</sup>參<sup>詣</sup>ノ人<sup>連</sup>綿<sup>ト</sup>シテ。夕

エサリケリ

第三十七卷

第一段

建曆二年正月二日ヨリ。上人日來不食ノ所勞増氣  
シ給ヘリ。スヘテコノ三四年ヨリコノカクハ。耳目朦昧ニシテ。  
色ヲミ聲ヲキ、給事トモニ、分明ナラス。シカルヲイマ。大漸ノ  
期チカツキテ、二根明利ナ事。ムカシニタカハス。ミル人隨喜  
シ不思議ノオモヒヲナス。二日以後ハ。更ニ餘言ヲミレヘス。  
ヒトヘニ往生ノ事ヲ談シ。高聲ノ念佛タエスシテ。睡眠ノ  
時ニモ舌口トコシナヘニウコク。同三日アル弟子今度ノ御  
往生ハ決定歟ト。タツ子申ニ。ワレモト極樂ニアリシ身ナレ

ハサタヌテカヘリユクヘシト。ノタマフ。又法蓮房申サク。古來  
ノ先德ミナソノ遺跡アリ。シカルニイニ。精舎一宇モ建立立ナ  
シ。御入滅ノ後。イツクヲモテカ。御遺跡トスヘキト。上人答  
給ハク。アトヲ一廟ニシムシハ。遺法ア子カラス。予カ遺跡ハ  
諸州ニ遍滿スヘシ。ユヘイカントナレハ。念佛ノ興行ハ愚老  
一期ノ勸化ナリ。サレハ念佛ヲ修セントコロハ。貴賤ヲ論セ  
ス。海人漁人カトマヤマテモ。コシ予カ遺跡ナルヘシト。オホ  
セラレケル

第二段

十一日ノ辰時ニ。上人才キ居給テ。高聲念佛シ給フ。キ  
ク人三十淚ヲナカス。弟子等ニツケテ。ノタハク。高聲ニ念佛

スヘシ。彌陀佛ノキタリ給ヘルナリ。コノミナヲトナフレハ。一人トシテモ。往生セストイフ事ナシトテ。念佛ノ功德ヲホメ給コト。アタカモムカシノコトシ。觀音勢至菩薩聖衆現シテマシマス。オカミタテマツルヤトノ給ヘハ。弟子等オカミタテマツラスト申。コレヲキ、給テ。イヨイヨ念佛スヘシトス。メ給リ

第三段

同日ノ巳時ニ。弟子等三尺ノ彌陀ノ像ヲムカヘタテマツリテ。病床ノミキニタテ。タテマツリテ。コノ佛オカミマシマスヤト申ニ。上人ユヒニテ。ソラヲサシテ。コノホトケノホカニ。又佛マシマス。オカミヤイナヤト。オホセラシテ。ス十八千カタリテノ給ハク。オホヨソ。コノ十餘年ヨリコノカク。念佛功ツモリテ。極樂ノ莊

嚴及佛菩薩ノ真身ヲオカミタテマツル事。ツ子ノ事ナリ。シカシトモ。トシコロハ秘シテイハス。イマ最後ニソノメリ。カルカユヘニ。シメストコロナリト。マタ弟子等佛ノ御手ニ。五色ノ糸ヲ。ツネトトリマシメセト。ス。メ申セハ。上人ノタマハク。カヤウノ事ハ。コレツ子ノ人ノ儀式ナリ。ワカ身ニヲキテハ。イマダカナラスシモ。シカラストテツ井ニトリ給ハス

第四段

廿日ノ巳時ニ坊ノウヘニ。紫雲ツヒクナカニ。圓形ノ雲アリ。ソノ色五色ニシテ。圓繪ノ佛ノ圓光ノコトシ。路次往反ノ人。麴々ニシテ。コレヲミル。弟子申サク。コノウヘニ。紫雲アリ。御往生ノ千カツキ給ヘルカト。上人ノ給ハク。アハレナルカナ

ヲツカ往生ハ一切衆生ノタメナリ。念佛ノ信ヲトラシメン  
カタメニ瑞相現スルナリト。又オナレキ日ノ未ノ時ニイタリ  
テ空ヲ見アケテ目シハラクモ。シロキタマハサル事。五六反  
ハカリナリ。看病ノ人々アヤシミテ。佛ノ來給ヘルカト。タツ子  
申セハ。然ナリトコタヘ給。又廿四日ノ午時ニ紫雲オホキ  
ニタナビク。西山ノ水ノ尾ノ峯ニスミヤクトモカラ。十餘人  
コレヲミテ來テツケ申。廣隆寺ヨリ下向シケル禪尼モ途  
中ニシテコレヲミテ。タツ子キタリテ。コノヨシヲ申ス。見聞ノ諸  
人隨喜セストイフ事ナシ

第五段

廿二日ヨリハ。上人ノ御念佛アルヒハ半時。アルヒハ一時。

高聲念佛不退ナリ。二十四日ノ酉尅ヨリ。二十五日  
ノ巳時ニイタルマテハ。高聲體ヲセメテ。無間ナリ。弟子五六  
人カハルカハル。助音スルニ。助音窮嶮ストイヘトモ。老邁病  
惱ノ身ヲコタリ給ハス。未曾有ノ事ナリ。群集ノ道俗感涙  
ヲモヨホサストイフ事ナシ。二十五日ノ午尅ヨリハ。念佛ノ  
御コエヤウヤク。カスカニシテ。高聲ハトキトキマレハル。マサレク  
臨終ニノソミ給トキ。慈覺大師ノ九條ノ袈裟ヲカケ頭  
北面西ニシテ。光明遍照。十方世界。念佛衆生。攝取不  
捨ノ文ヲトナヘテ。子フルカコトクシテ。息タエタマヒ又。音聲ト  
トマリテノチ。ナヲ脣舌ヲウコカシ給事十餘反ハカリナリ。  
面色コトニアサヤカニ。形容ヨメルニ似タリ。建曆二年正月

二十十五日午ノ正中ナリ。春秋八十ニミチ給釋尊ノ入滅ニオナシ。壽筭ノヒトシキノミアラス。支干又トモニ壬申ナリ。豈奇特ニアラスヤ。慧燈ステニキエ。佛日マタ没シヌ。貴賤ノ哀傷スル事考妣ヲ喪スルカコトシ

第六段

武蔵國ノ御家人桑原左衛門入道不知實名ト申ケルモノ。上人ノ化道ヲツタヘキ、テ。吉水ノ御房ヘタツ子マイリテ。念佛往生ノ道ヲオシヘラレタテミツリテ。ノチハ但信稱名ノ行者トナリニケレハ。歸國ノオモヒヲヤメ。祇園ノ西ノ太門ノ北ノツラニ居ヲシメテ。ツ子ニ上人ノ禪室ニ參シテ。不審ヲ決シ。念佛ヲコタリナカリケルカ。無始ヨリコノカタ。常

没流轉シテ。出離ソノ期ヲシラヌ身ノ。忽ニ他カニ乗シテ。往生ヲトケ。ナカク生死ノキツナヲキラシ事。ヒトヘニコシ。上人御教誡ノユヘナリトテ。報恩ノタメニ真影ヲウツシト、メタテミツリケリ。ソノコ。口サシテ感シテ。上人ミツカラコシヲ開眼シタラフ。上人御往生ノ後ハ。ヒトヘニ生身ノオモヒヲナシテ。朝夕ニ歸依。渴仰ス。カノ入道ツ井ニ種々ノ奇瑞ヲアラハシ。往生ノ素懷ヲトケニケリ。年來同宿ノ尼。本國ヘカヘリクタルトキ。件ノ真影ヲ知恩院ヘ送リタテシル。當時御影堂ニオハシニス。木像コレナリ

第三十八卷

第一段



參議兼隆卿カサ タカノキヤ七八年ノサキニユメミラク。人アリテオホキ丸  
雙紙ヲ披見ス。コレヲミシハ。諸人ノ往生ヲレルセリ。モシ法  
然上人ノ往生ヲレルストコロヤアルト。ミモテユクニ。ハルカノ  
オクニ。上人臨終ノ時ハ。光明遍照十方世界念佛衆  
生攝取不捨ノ文ヲ誦シテ。往生シ給ヘシレルセリ。ユメ  
サメテノ千人ニカタラス。イマノ往生ノ相ニ符合ノアヒタ。信  
仰ノヨシ申ヲクル。又上人往生ノ前後ニ。諸人ノ瑞夢コ  
レオホシ。四條京極ノ薄師真清ハ。正月十九日ノ夜。夢ニ  
東山ノ法然上人ノ禪房ノウヘニ紫雲ソヒケリ。人アリテ  
コレハ。往生ノ雲ナリトイフト。次ノ日巳時ニ。紫雲カノ坊  
ノウヘニオホヘリ。颯々ニコレヲミルユメト符合ス。弟子念ア

ミダフハ。同廿二日ノ夜。上人往生ノ紫雲ナラヒニシロキヒ  
カリ。虚空ニミチ。異香ヲカクトミル。三糸小川ノ倍從信賢  
カ後家ノ養女ナラヒニ。仁和寺ノ比丘尼西妙ハ。廿四日  
ノ夜。明日午時ニ。往生シ給ヘシトミテ。オトロキキタリテ。終  
焉ニアフ。花園ノ准后ノ侍女參河局ハ。廿四日ノ夜ノ夢  
ニ。上人ノ住房ヲミシハ。四方ニ錦ノ帳ヲタシタリ。色々アサ  
ヤカニシテ。ケフリマタミチミテリ。ヨクヨクコレヲミシハ。ケフリニハ  
アラス。スナハチ紫雲ナリ。上人ステニ。往生シ給ヘルカト。オホ  
エテサメヌ。花山院ノ右大臣家ノ青侍江内ナラヒニ。八  
幡ノ住人。右馬丸時廣カ子息金剛丸ハ。同夜ニ上人  
往生ノ儀ヲミテ。二十五日ノ早旦ニ。人々ニカタル。天王

寺ノ松殿法印靜尊ハ。二十五日午尅ニ。脇息ニヨリテ  
カリテ。休息シ給ヘル夢ニ。上人往生ノ時。車ノ輪ノコトク  
ナル。ハ輻輪ノ八方ノサキコトニ。雜色ノ幡ヲカケテ。東ヨリ  
西ヘユクニ。金色ノ光。四方ヲテラシ。天地ニミチミチテ。日光  
映蔽セラルト見タマフ。一切經ノ谷ノ袈裟王丸ハ。二十  
五日ノ夜。童子玉ノ幡ヲサシテ。千萬ノ僧衆。香爐ヲトリ  
上人ヲ圍遶シテ。西ニユキ給トミル。門弟隆寬律師ハ。初  
七日ニアタリテ。一晝夜ノ念佛ヲツトムルニ。一人ノ僧キタ  
リテ。上人ハ。ハヤ往生傳ニイリ給ヘリトツクトミル。スヘテ諸  
人ノ夢想オホシトイヘトモ。シクキニヨリテ。ツフサニレルサス

第二段

上人ノ住坊ノ。ヒンカシノ岸ノ夕ヘニ。西ハレタル勝地アリ。ア  
ル人コレヲ相傳シテ。自身ノ墓所トサタメヲキケルヲ。上人  
入洛ノ、千。去年十二月。カノ領主上人ニ寄進ス。券契  
等オナシク。寄進狀ニアヒソヘテ。タテニツリケレハ。源空ニユツ  
リタフハ。コレ三寶ニ廻向セラル、ナリ。佛ウケ給ヘトテ。火中  
ニナケ入ラシヌ。然ルニイマ上人往生ノトキ。コノ地ニ廟堂ヲ  
タテ。石ノ唐櫃ヲカマヘテ。オサメヲキタテマツル。コノ地ノ事ヲ  
カサ子テ夢ニミケルトモカラ。オホカリケレトモ。ナニトオモヒイル  
ル事ナクテ。スキニケルカ。イマ上人ノ墓所トナルトキ。不思議  
ノオモヒヲナシテ。面々ニ夢ヲレルシヲクレリ。カノ地ノ北ノ庵  
室ニ寄宿セル禪尼先年ノ夢ニ。天童コノ地ヲ行道スト

ミル。又カノ房主去年十一月十五日ノ夜ノユメニコノ地ニ青蓮華ヒラケテ。金色ノ光カヤクトミル。又隣家ノ清信女同月ノ夢ニコノ地ニ色々ノ蓮華ヒラケテヲノヲノ光ヲハナキ。妙香ヲ薰ストミル。清水寺ノ住僧同月九日ノ夜ノ夢ニ。夜又神等群集シテ。コノ地ヲヒキ。石ヲタムトミル。別當入道惟方卿ノ娘或説云栗田ハクノ禪尼。上人ハカ往生ノ後。二月十三日ノ夜ノ夢ニ。上人ノ墳墓ニハカマイリタレハ。八幡ノ寶殿ナリ。御ハカカヲアケタルニ。御正體ハカマシニス。傍ナル人ソノ御正體ヲサレテコレコソ。法然上人ヨトイフヲキテ。信心オコリ。身ノ毛イヨタチアセナカルトミル。又一人ノ女入同三月十四日ノ夜ノ夢ニ。上人ノ廟

堂ニミイリタレハ。庭ニ色々ノ蓮華アリ。一人ノ僧アリテ。イマヒラケサル蓮華一莖ハカヲアタヘテ。コノ地ニ詣センモノニハ。コノ蓮華一莖ハカヲアタフヘシ。コレ往生人ノカスニイルヘキシル。ナリコノ事アミ子ク。人ニシメスヘシトノタマフ。掌ハカヲアハセテ。コレヲウクトオモヒテ。夢サメヌ。コノ夢ニオトロキテ。カノ墳墓ニタツ子ミイルニ。地景トイヒ。廟堂トイヒ。事ノ儀スコシモ。夢ニタカハサリケレハ。信心アサカラスシテ。コノヨシヲ披露スルニ。ニコトライタレ。アユミヲハコフモノ。忌月ヲムカヘテ。貴賤イ千ヲナシ。亡日ヲミチテ。上下ソテヲツラ子ケリ。當時知恩院トイヘルコレナリ

第三段

四條堀河ニ材木ヲ賣買シテ世ヲワタルモノアリケルノ  
各ヲ堀河ノ太郎入道トイフ。フカク上人ニ歸シ念佛ヲ  
信シテ上人往生ノトキハ廟堂ノ柱ヲソタテニツリケル。レカ  
ルニ上人ノ中陰ニアル日ノ午尅ハカリニ若翁一人上人  
ノ墳墓ニタツ子キタリテイハク我ハコレ西山ノ樵夫ナルス  
キヌル寅時ノ夢ニ一人ノ僧來テツケテノ給ハク法然上  
人ノ墓所堂ノ柱奉加セル入道タ、イマ極樂ニ生ス。ユキ  
テ結縁スヘシトコレニヨリテタツ子參スルヨレヲ申翁ノツケ  
ニヨリテ僧衆等ユキテタツヌルニカノ太郎入道ハ所勞ニ  
ヨリテコノ裡東石蔵禪林寺 左所ニ移住セリト申アヒ  
タヲノカノ所ヘユキテタツヌルニザル事侍リ事ノ縁アリ

テコレニ侍ツルカ上人ツ子ニカタハラニミレシテ臨終ノチカ  
ツクヨレヲレメシ念佛ヲス、メ給ナリトテヨロコヒ侍ツルカ  
スキヌルアカツキステニ往生ヲトケ侍ヌルト申ス。タツ子イタ  
ル僧衆ナラヒニ老翁夢告ノタカハサル事感シ上人ニ繫  
屬結縁ノムナシカラサル事ヲヨロコヒテヲノヲノナミタラソ  
オトシケル

第三十九卷

第一段

上人臨終ノトキ遺言ノム子アリ。孝養ノタメニ精舎建立  
ノイトナミヲナスコトナカシ。心サシアラハヲノヲノ群集セス。  
念佛シテ恩ヲ報スヘシ。モシ群集アレハ鬪諍ノ因縁ナリト

ノ給ヘリ。レカレトモ、法蓮房世間ノ風儀ニ順シテ念佛ノ  
ホカノ。七白々々ノ佛事ヲ修スヘキヨシ。申サレケレハ諸人  
コレニレタカフ

第二段

初七白

導師信蓮房

檀那大官入道内大臣實宗カノ諷誦ノ文云ク  
夫以先師在生ノムカシ。弟子朝ヲノカレシユフヘ。一心ノ  
精誠ヲコラシテ。十重禁戒ヲウクカルカユヘニ濟度ヲ彼岸  
ニタノミ。敬テ諷誦ヲコノ砌ニ修ス。小善根ヲキラフ事ナカ  
シ。カナラス大因縁タラン。仍蓮臺ノ妙果ヲカサランカタメニ。  
ハヤク霜鐘ノ逸韻ヲタ、ク。真名ヲモテ假名ニシツ

二七白

導師求佛房

檀那別當入道孫某甲

第三段

三七白

導師住真房

檀那正信房湛空

誦經物唐朝王羲之摺本一紙面十二行八十餘字  
書之

西へヨシユクヘキ道ノシルヘセヨ昔モ鳥ノ跡ハアリケリ

第四段

四七白

導師法蓮房

檀那良清カノ諷誦文ニ云ク

先師末法萬年ハレメニアタリテ。彌陀一教ノスクレタル  
コトヲヒロム。智慧斂ヲヒツサク。莫耶ノホコサキトキニアラス。  
飛行珠ヲミカク。摩尼ノヒカリ。明ヲナラフ。抑尊靈逝川ニ  
サキタテテ。四七日遠人來迎ノ雲ヲノソム。新墳ニツイテ。  
兩三度遺弟酷烈ノ氣ヲカク。誠諦ノ言ヲオモヒテ。菩提  
ノ願ヲコフトイヘトモ。揭焉ノ旨意敬テモテ伏膺ス

第五段

五七日

導師權律師隆寛

檀那勢觀房源智カノ諷誦ノ文ニ云

彩雲軒ヲオホフ。千カク見トラク見テ來集異香室ニミツ。  
我キ、人キ、テ嗟嘆ス

第六段

六七日

導師法印聖覺

檀那慈鎮和尚カノ諷誦ノ文ニ云

佛子上人存日ノアヒタ。ハレハ法文ヲ談シ。常ニ唱導ニ  
モチ井ル。結縁ノオモヒアサカラス。濟度ノ願フカキカコトシ。コ  
レニヨリテ。今六七日ノ忌辰ニアタリテ。イサカ。三敬ノ諷誦  
ヲ修ス。法衣ヲサケテ。往生ノ家ニラクル。解脫ノ衣コレナ  
リ。法食ヲウケテ。化城ノ門ニホトコス。禪悅ノ食コレナリ。然  
則聖靈ハカノ平生ノ願ニコタヘテ。カナラス上品ノ蓮華ニ  
生シ。佛子ハコノ眞實ノ思ニヨリテ。ハヤク寂初ノ引攝ヲエン

第七段

七々白

導師三井僧正公胤

檀那法蓮房信空カノ諷誦ノ文ニ云

先師廿五歳ノムカシ。弟子十上一歳ノトキ。カタシケナクモ。師資ノ契約ヲムスヒ。ヒサシク五十ノ年序ヲツメリ。一旦且生死ヲヘタツ。九廻ノ腸タエナントス。北嶺黒谷ノ草庵ニ宿せしヨリ。東都白河ノ禪房ニウツリシニ。イタルマテ。其間。撫育ノ恩トイヒ。提擲ノ志トイヒ。報謝ノ思。昊天キハナリナレ。コノラモテ。彌陀迎攝一軀ノ形像ヲアラハシ。胎藏金剛兩部ノ種子ヲ安ス。又妙法華經八軸ヲ摺寫シ。金光明經一部ヲ書寫シテ。モキテ。開眼シ。モキテ。開題ス。下心ノ懇志ニ寶知見シ給へ。三井ノ僧正。子ニコロニ導師

ヲノソミ申サレケルアヒタ。オモヒノホカナル心地シケルホトニ。導師トシテ。種々ノ捧物ヲ隨身セラレタリケリ。子細ヲホツカナカリケルニ。說法ノトキ。佛經ノ讚歎ヲハリテ。チツフサニ淨土決疑ヲタク。因縁ヲノヘテイハク。今日ノ唱導ニス、ミ參スル事ハ。ヒトヘニ上人誹謗ノ重罪ヲ懺悔セシタメナリ。上人面談ノツイテニ。条々ノ僻事ヲナラサレ。又我宗ノ太事三箇条。上人ノラシヘヲモチテ。コレヲ決ス。門弟ト稱スルニタレリ。上人一一言ノ智弁ヲキ、テ。下愚ニ三卷ノ謬書ヲヤクトイヘトモ。先非ヲカナシム。涙ヲサヘカタク。後悔ヲイタスオモヒキエカタシコレニヨリテ。隨分ノ瞻觀ヲサ、テ。廟堂ニ詣シ。懇懃ノ懺悔ヲコラシテ。寶前ニヒサマツク。弟子ニコト

ライタス。亡魂<sup>ゴ</sup>コ、ロサシヲオサメ給ヘトテ落<sup>ラ</sup>涙<sup>ナミ</sup>セラレケレハ  
聽<sup>ミ</sup>衆<sup>シユ</sup>感<sup>カ</sup>涙<sup>ナミ</sup>ノコエヒ、キヲナシ。諸人<sup>シヤク</sup>隨<sup>イ</sup>喜<sup>キ</sup>ノナミ又袖<sup>スエ</sup>ヲホ  
リケリ

第四十卷

第一段

上人<sup>ウヂノヒト</sup>カタリテノ給ハクワレ一向<sup>イツウ</sup>專念<sup>センネン</sup>ノ義ヲタツルニ。人オ  
ホク謗<sup>バウ</sup>シテイハク。諸行<sup>シヨウギョウ</sup>ヲ修<sup>シユ</sup>ストイフトモ。タク念佛<sup>ニホフ</sup>往生<sup>ウシヤウ</sup>  
ノサハリトナルヘカラス。ナンソアチカチ。一向<sup>イツウ</sup>專念<sup>センネン</sup>ノ義ヲタ  
ツルヤ。コレ偏<sup>ヘン</sup>執<sup>シツ</sup>ノ義ナリト。カクノコトク難<sup>ナシ</sup>ヲイタスハ。コノ宗<sup>シユ</sup>  
ノイハレヲ。シラサルユヘナリ。經<sup>キヤウ</sup>ニハ一向<sup>イツウ</sup>專念<sup>センネン</sup>無量壽佛<sup>ムリヤウジユフツ</sup>トイ  
ヒ。釋<sup>シヤク</sup>ニハ一向<sup>イツウ</sup>專念<sup>センネン</sup>彌陀佛<sup>ミダツツ</sup>名<sup>ナ</sup>ト判<sup>ハン</sup>セリ。經<sup>キヤウ</sup>釋<sup>シヤク</sup>ヲハナシテ。

タクレニ義ヲタテハ。誠<sup>マコト</sup>ニセムルトコロ。ノカシカタレ。此<sup>コノ</sup>難<sup>ナシ</sup>ヲイタ  
サントオモハ。先<sup>マツ</sup>釋尊<sup>シヤクソノ</sup>ヲ謗<sup>バウ</sup>シ。次<sup>ツギ</sup>ニ善導<sup>ゼンドウ</sup>ヲ謗<sup>バウ</sup>スヘシ。ソノトカ  
マタクワカ身<sup>ミミ</sup>ノウヘニアラストソ。オホセラレケル。一向<sup>イツウ</sup>專修<sup>センシユ</sup>ノ  
義ヲ破<sup>ハ</sup>スル。人オホカリシナカニ。園城寺<sup>エンジョウジ</sup>ノ長吏<sup>チヤウリ</sup>太貳<sup>タイニ</sup>僧<sup>ソウ</sup>正<sup>シヤウ</sup>  
公胤<sup>コウイン</sup>イニタ。大僧<sup>ダイソウ</sup>都<sup>ツ</sup>ナリレトキ。上人<sup>ウヂノヒト</sup>ヲ誅<sup>シツ</sup>謗<sup>バウ</sup>シテ。公胤<sup>コウイン</sup>カ見  
タラン文<sup>モン</sup>ヲ。法然<sup>ホウゼン</sup>房<sup>ボウ</sup>ノミヌハアリトモ。法然<sup>ホウゼン</sup>房<sup>ボウ</sup>ノ見タルラン  
事<sup>コト</sup>ノ公胤<sup>コウイン</sup>カミヌハヨモアラシト。自<sup>ミ</sup>嘆<sup>ナミ</sup>シテ。淨土<sup>ジユツト</sup>決疑抄<sup>ケツギシヤウ</sup>ニ  
卷<sup>マキ</sup>ヲ記<sup>キ</sup>シテ。選<sup>セン</sup>集<sup>キヤウ</sup>ヲ破<sup>ハ</sup>ス。則<sup>スな</sup>學佛<sup>ガクブツ</sup>坊<sup>ボウ</sup>ヲ使<sup>シ</sup>者<sup>シヤク</sup>トシテ。上人<sup>ウヂノヒト</sup>  
ノ室<sup>シツ</sup>ニヲクラル。トキ。上人<sup>ウヂノヒト</sup>カノ使<sup>シ</sup>ニムカヒテ。コレヲヒラキ見  
給<sup>タマ</sup>ニ。上<sup>ウヂ</sup>卷<sup>マキ</sup>ノハシメ。法華<sup>ホウケ</sup>ニ即<sup>スな</sup>往安樂<sup>ウヤウラク</sup>ノ文<sup>モン</sup>アリ。讀誦<sup>ドクジュ</sup>大乘<sup>ダイジョウ</sup>  
ノ句<sup>ク</sup>アリ。讀誦<sup>ドクジュ</sup>ノ行<sup>ギョウ</sup>極樂<sup>キョクラク</sup>ニ往<sup>ウ</sup>生<sup>シユ</sup>スルニ。ナニサマタクカアラン。



カルニ。讀誦大乘ノ業ヲ廢レテ々々念佛ハカリヲ付屬スト  
イフ。コシオホキナルアヤマリナリトイヘリ。コノ文ヲミタヒテヲ  
ハリヲ見ス。サレヲキテノ給ハク。コノ僧都コレホトノ人トハオモハ  
サリツ。無下ノ事ナリ。一宗ヲタツトキ。カレハ廢立ノム子ヲ存  
スラント。オモハルヘシ。レカルニ法華ヲモテ。觀經往生ノ行ニ  
イレラル、事宗義ノ廢立ヲスル、ニ似タリ。モレヨキ學生  
ナラハ。觀經ハコレ余前ノ教ナリ。カノナカニ法華ヲ攝スヘカ  
ラストツ。難セラハヘキ。今ノ淨土宗ノ心ハ。觀經前後ノ諸  
大乘經ヲトリテ。ミナコトコトク。往生ノ行ノカニ攝スナン  
ソ法華ヒトリモレシヤ。アミ子ク攝スル心ハ。念佛ニ對シテコ  
レヲ廢センタメナリト。ノ給ケレハ。使歸テコノヨシヲカタルニ。

僧都口ヲトチテ。言説ナカリケリ。アルトキ。宜秋門ノ女院  
中宮ニテ。一品ノ宮ヲ御懷妊ノ時。上人ハ御戒ノ師ニ又  
サレ。公胤ハ御導師ニ祭シタヒテ。參會ニ給事侍キ。御  
受戒ハテ。上人退出セントシ給ニ。預キタリテ。レハ候ハセ  
給ヘ。見參ニ入侍ラント。太貳ノ僧都御坊申セト候ト申  
アヒタ。輒祠候シ給ニ。御經供養ハテ。僧都キタリテ。上人  
ニハ。念佛ノ事ヲ尋申ヘケレトモ。マツ太要ナルニツキテ申  
侍ナリ。東大寺ノ戒ノ四分律ニテ侍ル事ハ。如何ナリハレ  
ニテ侍ント。申サル、アヒタ。東大寺ノ四分律ニテアルヘキ  
道理ヲ具ニ尺シタヒタリレカハ。僧都カヘリテ。勘テ見給  
ヒケルニ。上人申サル、ム子。スコレモタカハサリケレハ。次ノ日

又參會ノ時。昨日仰ラシ侍レ事トモ。誠ニサ候ケリトテ僧  
都以外ニ上人ヲ歸敬シタマヒ。淨土ノ法門ヲ談シカ子テ  
余事ニワタル。玄暉ヲクエシ井ト。僧都申サレケハソノ宗  
ノ人ノ申侍レハ。クエシウントコソ申侍レカ。暉トカキテコソ  
ク井トハヨミ侍レ。暉トカキテハ。ウントコソヨミ侍レト。上人直  
申サレキ。惣シテカクノコトキノアヤマリトモ。七箇条ニテ直  
サレタリシカハ。僧都退出ノ、キ。弟子ニカダラレケルハ。今日  
法然房ニ對面シテ。七箇条ノ僻事ヲ直サレタリ。常ニ見  
參セハ。才學ハツキ侍ナシ。タツルトコロノ淨土ノ法門。聖意  
ニ違スヘカラス。アフキテ信スヘシ。カノ上人ノ義ヲシル。ニレ  
オホキナルトカナリトテ。則製作ノ決疑抄三卷ヲヤカレニ

ケリ。誠ニ博覽ノイタリ。ユハシカリケリトソ。ホメ申サレケル。カノ  
僧正ハ顯密ノ達者ニテ。智行兼備セリ。稱義ノ詞信ヲト  
ルニタレルモノナリ。上人ノ中陰ノ唱導ヲソニツトメテ。カサ  
子テ。前非ヲ懺悔セラレキ。ヒトヘニ。上人ノ勸化ニ歸シ。念  
佛ノ行ヲコタリナクシテ。建保四年閏六月廿日春秋  
七十ニ禪林寺ノホトリニシテ。往生ヲケラレシニ。洛中  
洛外紫雲ヲ見。瑞相ヲキ、テ。群集結縁ノ道俗カスラシ  
ラス。寺門ノ碩德顯密ノ宗匠ナリキ。シカレトモ。善ヲキ、テ  
ウツリヤスク。非ヲアラタメ。信ヲ生シテ。ツ井ニ往生ノ素懷ヲ  
トケラレニキ。末學偏執ノオモヒ。ムシロ古賢ノアトニ。千サラシヤ

第二段

柵尾ノ明慧上人 高弁 推邪輪三卷ヲ記シテ。選擇集  
ヲ破ス。上人ノ門徒コソリテ。難ヲクハヘシニヨリテ。カサ子テ。  
在嚴記トイヘル。一卷ノ書ヲツクリテ。ソノ難ヲ救ストイヘ  
トモ。義理不相應ノアヒタ。此書ヲツクラレテ。イヨイヨ。各譽  
ヲオトサレケリ。入道民部卿長房卿ハモトヨリ。明慧上人  
ニ歸シタル人ナリケレハ。カノ邪輪ヲ信シテ。高野明遍僧  
都ニミセタテツラントシ給ケル時。僧都ナニ文ント尋申サ  
レケルニ。選擇集ヲ破シタル文ナリト。申サレケレハ。我ハ念佛  
者ナリ。念佛ヲ破シタル文ヲハ。手ニモトルハカラス。且ニモ  
ミルヘカラスト下。返シ給ニケリ。カノ禪門モノチニハ。選擇ノイ  
ミレキ事ヲ。聞ヒラキテ。カヘリテ。選擇ニ歸シテ。イツレノ文カ

邪輪ナルラント。申サレケルトナシ。其後仁和寺ノ昇蓮房カ  
ノ邪輪ヲモチテ。明遍僧都ニミセタテツルニ。僧都申サレケ  
ルハ。凡立破ノミチハ。マツ所破ノ義ヲ。ヨクミク心得テコソ。  
破スルナラヒナルニ。選擇集ノ趣ヲ。ツヤツヤ心エスレテ。破セ  
ラシタルユヘニ。ソノ破サラニアタラサルナリ。ソノ中ニ異學異  
見ヲモテ。群賊ニタトフルヲ。破セラシタルモ。コレ善導觀經ノ  
疏ノ文ナリ。マタク法然房ノトカニアラス。オホカタ生。死ヲハ  
ナレシト。思フ程ノ人ノコレマテ。罵詈誶。誹謗セラシタル事モ。  
心得カタシトノ給ヘリ。カノ僧都ハ論義決擇ノミチ。日本  
第一ノホミレナリキ。アルトキ貞慶コレナリ。澄憲法印  
明遍僧都會合シテ。ツレラ一埃ニ人イサ宗論シ侍ラン

ト申サレケルニ。澄憲法印筆ヲトリテ。三論ニ明遍アリ。敵  
ツルキヲトリテ。敵ヲ害ス。法相ニ貞慶アリ。寸ヲトヘハ寸ヲコ  
タフ。宗論サラニカナフヘカラストソカ、レタリケルスヘテ一期  
ノ間々。論義ニツマラストソ申ツタヘ侍ル。ソノ評判無下ニ  
ハ侍レソカシ。サレハカノ明慧上人。菅宰相爲長。卿ノモト人  
オハレタリケルニ。摧邪輪ノ事ヲ申シイダシタリケレハ。サル事  
侍レカトモ。ヒカ事ナリケリトオモヒナリテ。イハ後悔シ侍十  
リト。申サレイルトナン

第三段

禪林寺ノ大納言僧都靜遍ハ。池ノ大納言頼盛ノ卿  
ノ息弘法大師ノ門人ナリ。ハレメハ醍醐ノ座主勝憲僧

正ヲ師トシテ。小野ノ流ヲウク。ノチ六仁和寺ノ上乗院  
ノ法印仁隆ニアヒテ。廣澤ノ流ヲツタヘテ。事相教相按  
群ノホマレアリキ。淨土門ニイルル濫觴ヲミソカラカタリ申  
サレケルハ。世コソテ選擇集ニ歸シ。念佛門ニイルモノオホ  
クキコエシ程ニ。嫉妬ノ心ヲオコシテ。選擇集ヲ破シ。念佛  
往生ノ道ヲフサカント思ヒテ。破文カクヘキ料紙マテト、  
ノヘテ。選擇集ヲヒキミルトコロニ。日コロノ所案オホキニ相  
違ス。末代惡世ノ凡夫ノ出離生死ノミチ。ヒトヘニ稱名  
ノ行ニアリケリト。見サタメレカハ。カヘリテコソノ書ヲ賞翫シテ。  
自行ノ指南ニシナフルヨシヲソ。申サレケル。日來嫉妬ノ心  
ヲ生シ給ケル事ヲクヒカナレシメテ。大谷ノ墳墓ニマシテハ。ナ

クナク悔謝<sup>クナク</sup>レテイハク。今日ヨリ。上人ヲ師トシ。念佛ヲ行ト  
スヘシ。聖靈<sup>聖靈</sup>照覽<sup>照覽</sup>ヲタシテ。先非<sup>先非</sup>ヲユルニ給ヘトゾ。ストキ申  
サシケル。其後細班<sup>細班</sup>ヲ辭<sup>辭</sup>シ。ミツカラ心園<sup>心園</sup>房ト号シテ。一向  
念佛セラシキ。トクサへ續選擇<sup>續選擇</sup>ヲツクリテ。上人ノ義道ヲ助  
成<sup>成</sup>シ。一偈<sup>一偈</sup>ヲムスニテイハク。一期所案極。求捨世道理。唯  
稱阿彌陀。語嘿常持念ト。又法照禪師ノ五會法事  
讚ノ彼佛因中立弘誓。聞名念我惣來迎トイヘル。七  
言ハ一句ノ文ヲ誦シテ。淨土宗ノ肝心コノ文ナリトソ。ツ子  
ハ申サレケル。ツ井ニ貞應三年四月廿日。大意ノコトク。往  
生ヲトケラレニケリ。彫<sup>彫</sup>氏ニハ天親<sup>天親</sup>菩薩ハシメ小乘<sup>小乘</sup>ヲ信シ  
テ。五百部ノ論<sup>論</sup>ヲツクリテ。大乘<sup>大乘</sup>ヲ破セシカトモ。後ニ改悔<sup>改悔</sup>

ノ心ヲオコシ。大乘<sup>大乘</sup>ニ歸セシカハ。大乘<sup>大乘</sup>五百部ノ論<sup>論</sup>ヲツクリ  
テ。カヘリテ。コレヲホメキ。震旦<sup>震旦</sup>ニハ宋<sup>宋</sup>ノ張蓋<sup>張蓋</sup>相<sup>相</sup>イマ秀<sup>秀</sup>才<sup>才</sup>タ  
リシ時。フカク佛法<sup>佛法</sup>ヲソ子ミテ。破法論<sup>破法論</sup>ヲツクラント。沈吟<sup>沈吟</sup>セ  
シトキ。何氏<sup>何氏</sup>方便<sup>方便</sup>ヲメクラシテ。邪見<sup>邪見</sup>ノ説トモヲヨクヨク見  
テ破スヘキナリトテ。維摩經<sup>維摩經</sup>ニ卷<sup>卷</sup>ヲアタヘシカハ。ゴノ經ヲ披  
閱<sup>披閱</sup>シテ。フカク改悔<sup>改悔</sup>ノ心ヲオコシ。護法論<sup>護法論</sup>ヲツクリテ。カヘリテ  
佛<sup>佛</sup>教<sup>教</sup>ヲタスケキ。震旦<sup>震旦</sup>日<sup>日</sup>城<sup>城</sup>コトナレトモ。捨邪<sup>捨邪</sup>歸正<sup>歸正</sup>ノアト  
ムカシモカクソ侍ケレ

傳繪詞卷八終

傳繪詞卷八終

和傳卷八

二十三



